

# 社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会 平成25年度事業報告

重点事業			
実施項目／実施内容			
<p>○ 地域福祉推進支援事業の実施</p> <p>少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、本会に地域福祉支援員及び地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するなど、本事業の推進に努めた。</p>			
<p>1 地域福祉支援員の配置 7名</p> <p>2 地域福祉コーディネーターの配置 5名</p> <p>3 住民支え合い活動実施モデル地区の選定 日常生活において地域住民が主体となっている見守りや生活支援などの住民支え合い活動を推進するため、各地区にモデル地区を選定し、座談会の場を設定するとともに、そのコーディネーターを担うなど住民主体の活動を側面的に支援した。</p>			
地 区 名	モ デル 地 区 名	地 区 名	モ デル 地 区 名
平	明治団地自治会	遠 野	下根本区
	沼之内区	小 川	上ノ原地区
小名浜	岡小名第1東区	好 間	上好間上組区
勿 来	金山地区	三 和	下市萱地区
	南台1・2区	田 人	貝泊区
常 磐	下船尾1区	川 前	川前町第12区
内 郷	宮1区	久之浜・大久	西町1区
四 倉	四倉町第5区	計	15カ所
<p>4 小地域福祉活動の拡充 これまで取り組んできた小地域福祉活動（自治会や行政区が行う地域の福祉ニーズに合った地域活動）を継続して活動ができるように支援した。</p> <p>(1) 小地域福祉活動の推進 行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域は地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。</p> <p>(2) 小地域福祉活動連絡会の開催 「地域は地域で支え合う」ことを基本に、地域住民が自ら地域の福祉課題の解決に向けた小地域福祉活動を実施している各行政区等による連絡会を開催し、相互の情報交換や意見交換等を通じて、小地域における住民福祉活動の充実強化に努め、福祉コミュニティづくりを促進した。</p> <p>5 いきいきデイクラブ事業・子育てサロン事業の拡充 地域における高齢者等が、自ら介護予防に向けた取組みを実施する「いきいきデイクラブ事業や」、子育て中の親子などの交流や情報交換の場である「子育てサロン事業」の拡充に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ いきいきデイクラブ事業 17カ所拡充</li><li>・ 子育てサロン事業 1カ所拡充</li></ul>			

## ○ 第3次地域福祉活動計画及び地区版地域福祉活動計画の策定

社会情勢の変化や東日本大震災等によって地域の生活・福祉課題が大きく変容したことから、平成24・25年度の2年間で市内13地区において住民福祉懇談会を開催し、住民の“声”を反映した住民本位の計画へ見直すとともに、震災で得た教訓や経緯を踏まえた災害時の対策マニュアルや、災害時要援護者支援等の強化、さらには市との連携を強化し、さらなる地域福祉の推進を図ることを目的として「第3次地域福祉活動計画」を「新・いわき市地域福祉計画」と一体的に策定した。

さらに、各地区的実情を踏まえながら、地区協議会が実施する地域住民主体の地域福祉活動の具体的な内容を定める行動計画として「地区版地域福祉活動計画」を策定した。

### 1 計画の策定経過

- (1) 職員会議で協議
- (2) 事業推進委員会等で協議
- (3) 理事会・評議員会への提案
- (4) 理事会・評議員会で策定

※ 「地区版地域福祉活動計画」は、各地区福祉推進会で策定

### 2 住民福祉懇談会の実施

#### (1) 目的

いわき市社会福祉協議会各地区協議会の地域福祉事業等に対する地域住民の率直な意見を聴取するとともに、地域が抱える福祉課題や生活課題とその解決を図るための提案・提言等をまとめ、それらを本計画及び地区の事業計画に反映させる目的から、平成24・25年度の2年間で、市内13地区において住民福祉懇談会を開催した。

#### (2) 対象

地域住民の代表である各地区協議会福祉推進委員及び行政や各地域包括支援センター職員、地区社協事業協力者、福祉関係機関・団体等

#### (3) 方法

懇談会の基調説明及び各地区協議会の重点事業に関する説明の後、ワークショップ形式により、参加者が小グループに分かれて福祉課題や生活課題とその解決方法について活発に議論した。

地区名	実施日	地区名	実施日
平	平成25年10月31日	小川	平成26年 1月24日
小名浜	〃 10月31日	好間	平成25年10月30日
勿来	〃 11月21日	三和	〃 10月22日
常磐	平成26年 1月23日	田人	〃 10月 3日
内郷	平成25年10月11日	川前	〃 11月26日
四倉	〃 11月25日	久之浜・大久	〃 12月18日
遠野	〃 11月25日	全地区で実施	

### 3 計画期間

計画名	計画の期間	計画年数
第1次地域福祉活動計画	平成16年度から平成20年度	5年
第2次地域福祉活動計画	平成21年度から平成25年度	5年
第3次地域福祉活動計画	平成26年度から平成30年度	5年
地区版地域福祉活動計画	〃	〃

## ○ 被災者支援事業の推進

被災者の再建が徐々に進んできている中、復興支援ボランティアセンター（生活支援相談員）及び地区社協職員がこれまで以上に情報共有や連携を図りながら被災者支援事業に努めた。

（例：民間借上げ住宅等に居住する被災者への復興住宅入居に関する支援制度、サービス等の周知や地域住民等との交流会の開催に加え、地元に戻ってきた住民へのサロン活動等の開催）

### 1 復興支援（災害救援）ボランティアセンターの運営

東日本大震災により、市をはじめとする関係機関との協働で「いわき市災害救援ボランティアセンター」を設置し、市民はもとより全国各地からのボランティアの協力を得ながら被災地復興にあたってきた。震災後の時間の経過とともに被災された方々の生活復興支援やコミュニティづくりが最重要課題となつたため、同年8月からは「いわき市復興支援ボランティアセンター」へ機能・名称を変更するとともに生活支援相談員等を新たに配置し、被災者の生活復興支援に取り組んでいる。

#### (1) 活動内容

- ① 生活支援相談員を中心とする被災者の見守りと生活支援に関する情報提供
- ② サロン（交流会）やイベントをとおしての地域コミュニティづくり
- ③ 災害復旧支援活動（被災家屋・地域の片づけ、引越しのお手伝いなど）

＜ボランティアの活動状況＞（平成26年3月31日現在）

- ・ ボランティア活動者数 60, 173名
- ・ ニーズ受付件数 7, 521件
- ・ マッチング件数 7, 497件

#### (2) 具体的な取り組み（平成26年3月31日現在）

- ① 生活支援相談員配置事業 27名  
(県社協委託事業 17名・いわき市委託事業：見守り支援事業 10名)
  - ・ 対象世帯数 1, 923世帯
  - ・ 訪問状況 76, 428件（延べ）
  - ・ 交流会実施回数 728回

### 2 津波被災地域高齢者の交流と健康づくり事業（いきいき交流サロン）

津波被災地域の被災高齢者の閉じこもりや生活不活発病を防止するため、市内の4施設（新舞子ハイツ・ゆったり館・勿来の閑荘・かんぽの宿）に交流の場を設けるとともに、健康づくりのための介護予防運動を実施した。

- (1) 事業実績 ①実施回数 139回 ②参加人数 3, 680名（延べ）  
(24年度：141回／3, 373名)

#### (2) 対象者数

市内の津波浸水区域のうち被災した高齢者（65歳以上の方）

- ① 津波被災地域に居住している高齢者 約800名
- ② 津波被災地域から市内の一時提供住宅等に避難している高齢者 約1, 200名

- (3) 実施内容 軽度の運動、会食、入浴、生活相談、健康相談等

新規事業
実施項目／実施内容
<p>○ 災害時等要援護者マップ作成事業</p> <p>「地域における要援護者の把握や各要援護者と支援者等のネットワークを把握するため、地域福祉マップ」の作成を通して、地域住民が支えあい、支援していく仕組みの構築・強化に努めた。</p> <p>※ 本会が重点事業として推進する「地域福祉推進支援事業」の一環として実施</p> <p>【主な活動内容】</p> <p>平成 25 年 6 月 1 日 事業受託 ※ 市内 10 地区（赤沼地区、沼ノ内地区、下川地区、江名地区、関田地区、中田地区、西郷地区、宮地区、新町地区、田之郷地区）において座談会を開催し、要援護者等の情報を盛り込んだ「地域福祉マップ」を作成した。</p> <p>平成 26 年 2 月 17 日 住民支え合い活動実践研修 演題：「住民流・福祉のまちづくりのコツ」 講師：木原 孝久 氏（住民流福祉総合研究所代表）</p>
<p>○ 「日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト」被災者支援を目的とした地域福祉活動助成事業</p> <p>韓国共同募金会からの助成を受けて、平成 24 年度から被災者支援を目的とする事業を行った。</p> <p>【平成 25 年度新規事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あったか～い温泉に入ってリフレッシュ事業（津波被災地域高齢者対象）</li> <li>・ 親子体験教室（勿来地区）</li> <li>・ お出かけ子育てサロン♪（常磐地区）</li> <li>・ ふれあい交流事業～好間地区・大熊町・富岡町住民の交流～（好間地区）</li> <li>・ 遠野地区・田人地区合同子育てサロン（遠野・田人地区）</li> <li>・ 元気な川前をつくろう！～高齢者と若者のふれあい福祉事業～（川前地区）</li> <li>・ 地域ふれあいサロン～民間借上げ住宅入居者を中心としたサロン～（いわき市復興支援ボランティアセンター）</li> <li>・ いわき市災害救援（復興支援）ボランティアセンターブログ本作成</li> <li>・ ボランティアスクール+1（内郷地区）</li> </ul> <p>【平成 24 年度からの継続事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春休みの小学生を対象とした子育てサロン事業（小名浜地区）</li> <li>・ ふるさとサロン（久之浜・大久地区）</li> <li>・ ぼくとわたしの海辺のクリスマス事業（小名浜地区復興支援ボランティアセンター）</li> <li>・ ボランティアセンターだよりの発行</li> <li>・ 被災者用福祉情報誌配布事業</li> <li>・ 地区社協だよりの発行（勿来・常磐・遠野・田人・川前地区）</li> <li>・ 倾聴ボランティア・フォローアップ講座</li> <li>・ 0246 プロジェクト</li> <li>・ 学生ボラティア視察研修（平地区）</li> </ul>

## ○ 大規模災害発生時における福祉避難所への人材派遣に関する協定の締結

東日本大震災を教訓に、大規模な災害が発生した場合でも、災害時要援護者等への影響を最小限とするため、平成25年度改訂の「地域防災計画」において、福祉避難所が位置づけられることとなった。

そのため、本会では、災害時要援護者等の福祉避難所での生活に支障が生じないよう、介護等に従事する人材等を派遣することに関し、いわき市と協定を締結した。

なお、福祉避難所の運営の必要性等に関しては、社会福祉セミナーの実施などを通して理解を深めた。

平成26年2月10日 協定締結式（いわき市役所）

2月13日 社会福祉セミナー（いわき市社会福祉センター）

対象：市内の福祉施設役職員、社会福祉協議会役職員

参加人数：約80名

講演：「ここだけは押さえておきたい福祉避難所のこと、そして・・・」

講師：NPO法人さくらネット代表理事 石井 布紀子 氏

### <社協の役割>

福祉避難所において専門的なケアをする職員の確保については、施設の運営上必要に応じて、必要な人材を確保し、介護職員、看護師、ボランティア等の人材を派遣する。

### <協定の概要>

#### 1 協定締結先

(1) 市が設置・運営するにあたっての開設等協力について

- ・福島県老人保健施設協会いわき連絡協議会
- ・いわき市特別養護老人ホーム連絡協議会
- ・いわき地区障がい者福祉連絡協議会

(2) 福祉機器等の供給協力について

- ・福島県福祉機器協会

(3) 人材派遣について

- ・いわき市社会福祉協議会

#### 2 協力要請の主な内容

(1) 福祉避難所の開設及び受け入れた要援護者等に対する日常生活上の支援等。

(2) 福祉避難所への福祉機器等の供給。

(3) 福祉避難所への介護職員、看護師、ボランティア等の人材派遣。

## 基本理念「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」

### 基本目標1 地域を担う人づくり

#### 基本計画1－1 福祉意識啓発及び広報活動の推進

実施項目／実施内容	備考								
<p>○ 住民参加型在宅福祉サービス活動の支援</p> <p>地域密着型で実施されている給食サービスや会食サービス、デイサービスなどの住民参加型在宅福祉サービスに対し、協働活動やボランティア基金からの助成等を通じて活動を支援した。</p>									
<p>○ 企業・労働組合等の社会貢献活動の支援</p> <p>企業・労働組合等が社会貢献を目的に実施するさまざまなボランティア活動に対し、受け入れ先の情報提供や連絡調整および活動備品の提供等を通じて、その活動を支援した。</p>									
<p>○ いわき市ボランティア連絡協議会活動の支援</p> <p>いわき市内のボランティア団体が相互交流や情報交換、またリーダー研修や情報紙の発行などを通して、ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」の活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>主な支援活動</li></ul> <table><tbody><tr><td>平成25年 5月12日</td><td>総会及び講演会（社会福祉センター） 内容：連携・協働の重要性～力合せて みんなの為に～ 講師：全日本佛教青年会 救援委員長 米澤 智秀 参加人数：25名</td></tr><tr><td>10月19日</td><td>福島県ボランティア連絡協議会研修会（勿来市民会館）</td></tr><tr><td>11月 7日</td><td>阿見町ボランティア連絡会視察訪問（社会福祉センター）</td></tr><tr><td>平成26年 2月22日</td><td>第17回ふくしまボランティアフェスティバル (パルセいいざか)</td></tr></tbody></table>	平成25年 5月12日	総会及び講演会（社会福祉センター） 内容：連携・協働の重要性～力合せて みんなの為に～ 講師：全日本佛教青年会 救援委員長 米澤 智秀 参加人数：25名	10月19日	福島県ボランティア連絡協議会研修会（勿来市民会館）	11月 7日	阿見町ボランティア連絡会視察訪問（社会福祉センター）	平成26年 2月22日	第17回ふくしまボランティアフェスティバル (パルセいいざか)	
平成25年 5月12日	総会及び講演会（社会福祉センター） 内容：連携・協働の重要性～力合せて みんなの為に～ 講師：全日本佛教青年会 救援委員長 米澤 智秀 参加人数：25名								
10月19日	福島県ボランティア連絡協議会研修会（勿来市民会館）								
11月 7日	阿見町ボランティア連絡会視察訪問（社会福祉センター）								
平成26年 2月22日	第17回ふくしまボランティアフェスティバル (パルセいいざか)								
<p>○ 広報紙の発行</p> <p>社会福祉協議会の取り組みの理解と協力をいただくために広報紙を発行。 また、地区協議会独自の広報紙も発行して、地域福祉活動に対する更なる理解の促進に努めた。 なお、広報紙の編集にあたっては、役員と職員からなる広報委員会を設置し、より親しみやすい広報紙づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>発行部数：各123,000部（市外への避難者と双葉郡からの避難者分を含む。）</li><li>発行状況：平成25年 7月10日 いわき市社協だより 第107号 9月20日 " 第108号</li><li>平成26年 1月20日 " 第109号</li><li>4月18日 " 第110号</li></ul>									

## ○ ボランティア活動センターだよりの発行

ボランティア活動センターの事業案内やボランティアグループの紹介等を通して、ボランティア活動の推進を図るため広報紙を発行した。

- ・ 発行部数：各 43,000 部
- ・ 発行状況：平成25年 6月 ボラセンだより 創刊号  
12月 " 第2号
- 平成26年 3月 " 第3号

## ○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携

### 1 民生児童委員との連携強化

情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。

#### (1) 民生児童委員と連携する主な事業

- ① 生活福祉資金貸付事業
- ② 心配ごと相談事業
- ③ 緊急連絡カード配備事業
- ④ 小地域福祉活動事業
- ⑤ いきいきディクラブ事業
- ⑥ 子育て支援事業
- ⑦ 共同募金関係事業
  - ・ 各種募金活動
- ⑧ 歳末配分事業
  - ・ 歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給

#### (2) 地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。

- ① 社協関係事業情報提供
- ② 各種調査による情報収集

### 2 行政嘱託員（区長）との連携強化

さまざまな地域活動の中核として活動されている行政嘱託員・区長との連携を強化し、各種募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。

#### (1) 行政嘱託員・区長と連携する主な事業

- ① 小地域福祉活動事業
- ② 会員会費の推進
- ③ 共同募金運動の推進
- ④ 社協広報紙の配布
- ⑤ いきいきディクラブ事業

## ○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催

平成25年度事業計画、重点事業等の説明を行い、理解と協力を得るとともに意見の交換を行った。

開催日：平成25年6月27日

開催場所：社会福祉センター

内容：平成25年度事業計画及び主な推進事業について

## ○ 小地域福祉活動の推進

行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域は地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。

1 地区協議会が行政区、自治会等を指定し、事業推進を図った。(助成事業)

※ 指定期間：3年間

2 指定小地域における活動

- (1) 活動の基盤となる組織づくりと地域福祉課題の明確化
- (2) 福祉やボランティア活動に対する理解を高めるための研修会や講座・懇談会の開催
- (3) 地域福祉ニーズに合った各種事業や援助活動

3 平成25年度の指定状況：23行政区 4,025世帯

4 地区别別指定地域一覧

地区名	地 域 名	地区名	地 域 名	地区名	地 域 名
平	平第36区	四 倉	四倉町第14区	田 人	全行政区指定終了
	中央台第一団地		柳生区		
小名浜	小名浜西5区連絡協議会	遠 野	下根本行政区	川 前	川前町第3区
	玉川町東2区				川前町第8区
勿 来	錦町大倉区自治会	小 川	桐ヶ岡行政区	久之浜	金ヶ沢区
	小名田地区自治会		塩田区		・大久 小山田区
常 磐	若葉台2区	好 間	北好間権現堂・仲組区	計 23 行政区	
	小野田区		久保・源平野地区	計 23 行政区	
内 郷	高坂9区	三 和	下三坂区		
	綴第3区		上市萱区		

## ○ 小地域福祉活動連絡会の開催

「地域は地域で支え合う」ことを基本に、地域住民が自ら地域の福祉課題の解決に向けた小地域福祉活動を実施している各行政区等による連絡会を開催し、相互の情報交換や意見交換等を通じて、小地域における住民福祉活動の充実強化に努め、福祉コミュニティづくりを促進した。

・ 平成26年2月26日 社会福祉センター 行政区等の代表28名出席

## ○ 地域福祉推進支援事業の実施

少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するため、本事業を推進した。

再掲

### ○ 地区協議会主体の住民福祉懇談会の開催

地区協議会が地域住民や関係機関・団体等と協働して取り組む地区版地域福祉活動計画を策定するため住民福祉懇談会を開催した。

住民福祉懇談会で挙げられた「地域ネットワークの強化」や「地域活動の核となる人材の育成・発掘」といった住民の「声」は、地区版地域福祉活動計画に反映させた。

地区名	実施日	地区名	実施日
平	平成25年10月31日	小川	平成26年 1月24日
小名浜	〃 10月31日	好間	平成25年10月30日
勿来	〃 11月21日	三和	〃 10月22日
常磐	平成26年 1月23日	田人	〃 10月 3日
内郷	平成25年10月11日	川前	〃 11月26日
四倉	〃 11月25日	久之浜・大久	〃 12月18日
遠野	〃 11月25日	全地区で実施	

### 基本計画1-2 福祉教育の推進

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 児童・生徒向け体験プログラムの実施 教育現場での総合学習と連携して、児童・生徒に思いやりややさしさを醸成するための福祉体験プログラムを実施し、次世代の育成を図った。</p>	関係資料 P.1 ~4
<p>○ ボランティアスクールの実施 第23回サマーショートボランティアスクールの実施 開校式を含め4日間の日程で、夏休みの期間を利用し、市内福祉施設などで高校生を対象にボランティア体験学習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開校式：平成25年7月20日（社会福祉センター）</li> <li>・ 参加学校数：14校（24年度：11校）</li> <li>・ 参加生徒数：116名（〃：96名）</li> <li>・ 体験先福祉施設等：32施設（〃：33施設）</li> <li>・ 体験先ボランティアグループ：2団体（平成25年度より追加）</li> </ul>	
<p>○ 高齢者疑似体験セット等の貸出 加齢とともになる身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セット等を無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者疑似体験セット貸出件数 42件 508セット（24年度：36件 493セット）</li> <li>・ 車椅子貸出件数 31件 132台（24年度：17件 68台）</li> </ul>	
<p>○ 福祉教育用ビデオライブラリーの貸出 住民福祉活動やボランティア活動への市民の積極的な参加と協力を促進するため、福祉教育用ビデオライブラリーを無料で貸出した。</p>	

○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）

各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。

1 ボランティア講演会

開催日：平成25年7月28日

開催場所：社会福祉センター

内容：講義「心のバリアをはずして」

講師：中野 佐世子 氏（NHK手話ニュースキャスター／手話通訳士）

参加者：120名

2 福祉レクリエーションボランティア入門講座

開催場所：社会福祉センター

講師：七海 多美子 氏（福祉レクリエーションワーカー、介護福祉士）

開催日	内 容	参加者
平成25年11月 6日	講義「福祉領域になぜレクリエーションが必要なのか」	9名
11月13日	実技「コミュニケーションワーク」	8名
11月20日	実技「レクリエーション活動」	8名
11月27日	実践「施設でレクリエーション活動」	7名
12月 4日	実技「ふりかえり」と「まとめ」	7名

3 子育てサロンボランティア研修会

開催日：平成25年11月8日

開催場所：社会福祉センター

内容：講話「手遊び教室」

講師：坂本 真由美 氏（市民講師）

参加者：61名

4 傾聴ボランティア養成講座（日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト事業）

開催場所：社会福祉センター

開 催 日	内 容	参 加 者
平成26年2月8日	講義①「“きく”ことの意味－傾聴とボランティア－ 講師：いわき明星大学 人文学部 現代社会学科 教授 柳澤 孝主 氏  講義②「傾聴の意義と方法」 講師：いわき明星大学 人文学部 心理学科 教授 齋田 文子 氏	44名
2月15日	講義①「日常生活における“聴く”ことと“話す”こと」 －エスノメソドロジーの視点から－ 講師：いわき明星大学 人文学部 現代社会学科 准教授 菅野 昌史 氏  講義②「傾聴の基本姿勢－他人事にしない心－」 講師：全日本仏教青年会 救援委員長 米澤 智秀 氏  活動紹介 いわき傾聴ボランティアみみ	38名

5 倾聴ボランティアフォローアップ講座（日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト事業）  
開催場所：社会福祉センター

開催日	内 容	参加者
平成25年 11月23日	講義①：“きぐ”ことの意義 ~日常体験といくつかのエピソードから ~ 講師：いわき明星大学 人文学部 現代社会学科 教授 柳澤 孝主 氏 講義②：「交わること」「耳を澄ますこと」 ~ “あそびり教室”の実践から~ 講師：いわき明星大学 人文学部 現代社会学科 教授 菊池 真弓 氏	31名

○ 介護講座の開催

高齢者の介護や介護予防が国民的課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催した。

関係資料  
P.5  
～6

○ 在宅介護者リフレッシュの集いの開催

家庭で寝たきりの高齢者等の介護にあたっている家族が、相互交流や情報交換や、より良い介護に役立てるために、専門職からアドバイスを受けたり、介護を離れてリフレッシュすることを目的に開催した。

関係資料  
P.7

○ 高齢者ふれあいの集いの開催

高齢者の生きがいづくりや社会参加、健康増進と介護予防とともに、民生児童委員、行政嘱託員、婦人会等地域のボランティアとのふれあいや児童生徒との世代間交流を図ることを目的に開催した。

関係資料  
P.8

○ 世代間交流事業の実施

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいづくりを目的として開催した。

関係資料  
P.9

基本計画1－3 必要な知識及び技術の習得・向上

実施項目／実施内容	備考
○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等） 各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。	再掲

基本計画1－4 地域特性を活かした人材の育成・活用

実施項目／実施内容	備考																										
<p>○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）</p> <p>各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p>	再掲																										
<p>○ 福祉人材センター協力指定事業の実施</p> <p>地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福島県福祉人材センターが実施する事業についての協力・支援の実施 社会福祉施設への就労を希望する者（学生を含む）に対し、福祉の職場、職種等についての相談会をいわき市社会福祉センターにおいて、毎月第2水曜日に開催（午前10時から午後3時）した。</li> </ul>																											
<p>○ 福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整</p> <p>福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生や専門学校生等を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受入期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年7月9日～8月8日</td> <td>いわき明星大学 (2名)</td> </tr> <tr> <td>8月21日～9月27日</td> <td>東日本国際大学 (1名) 常磐大学 (1名) 会津大学短期大学部 (1名)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>4校 (5名)</td> </tr> <tr> <td>8月6日～9日</td> <td>東北福祉大 (1名)</td> </tr> <tr> <td>9月2日～6日</td> <td>福島介護福祉専門学校 (1名)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>2校 (2名)</td> </tr> <tr> <td>6月4日～7日</td> <td>いわき短期大学 (2名)</td> </tr> <tr> <td>6月11日～14日</td> <td>〃 (2名)</td> </tr> <tr> <td>7月22日～24日</td> <td>いわき明星大学 (2名)</td> </tr> <tr> <td>8月18日～20日</td> <td>東北医療福祉専門学校 (3名)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3校 (9名)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8校 (16名)</td> </tr> </tbody> </table>	受入期間	備考	平成25年7月9日～8月8日	いわき明星大学 (2名)	8月21日～9月27日	東日本国際大学 (1名) 常磐大学 (1名) 会津大学短期大学部 (1名)	小計	4校 (5名)	8月6日～9日	東北福祉大 (1名)	9月2日～6日	福島介護福祉専門学校 (1名)	小計	2校 (2名)	6月4日～7日	いわき短期大学 (2名)	6月11日～14日	〃 (2名)	7月22日～24日	いわき明星大学 (2名)	8月18日～20日	東北医療福祉専門学校 (3名)	小計	3校 (9名)	合計	8校 (16名)	(24年度：8校 40名)
受入期間	備考																										
平成25年7月9日～8月8日	いわき明星大学 (2名)																										
8月21日～9月27日	東日本国際大学 (1名) 常磐大学 (1名) 会津大学短期大学部 (1名)																										
小計	4校 (5名)																										
8月6日～9日	東北福祉大 (1名)																										
9月2日～6日	福島介護福祉専門学校 (1名)																										
小計	2校 (2名)																										
6月4日～7日	いわき短期大学 (2名)																										
6月11日～14日	〃 (2名)																										
7月22日～24日	いわき明星大学 (2名)																										
8月18日～20日	東北医療福祉専門学校 (3名)																										
小計	3校 (9名)																										
合計	8校 (16名)																										

## ○ 観察研修の受け入れ

他の市町村社会福祉協議会や地域福祉事業団体等の観察研修を受け入れ、広く社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。(46団体)

平成25年	5月13日	埼玉県朝霞市議会議員
	5月14日	千葉県富津市民生児童委員協議会
	5月27日	埼玉県狭山市民生児童委員協議会
	5月28日	茨城県笠間市民生児童委員協議会
	6月 3日	千葉県船橋市民生児童委員協議会
	6月 5日	熊本県山鹿市民生児童委員協議会
	6月17日	神奈川県川崎市高津区民生委員児童委員協議会
	6月25日	大分県国東市武蔵地区民生委員児童委員協議会
	7月 2日	茨城県坂東市社会福祉協議会
	7月12日	愛知県知立市民生児童委員協議会
	7月17日	群馬県前橋市大胡地区民生児童委員協議会
	7月18日	青森県八戸市民生児童委員協議会
	7月26日	千葉県千葉市花見川地区民生児童委員協議会
	7月27日	北塩原村公民館
	8月23日	茨城県霞ヶ浦民生委員協議会
	9月 5日	東京都千代田区社会福祉協議会
	9月 5日	千葉県印西市社会福祉協議会
	9月 6日	静岡県三島市民生児童委員協議会
	9月11日	神奈川県横須賀市連合町内会
	9月19日	佐賀県基山町民生児童委員協議会
	9月25日	福島市飯坂方部民生児童委員協議会
	9月26日	長崎県東彼杵町民生委員児童委員協議会
	9月29日	東京都葛飾区民生児童委員協議会
	10月 5日	北塩原村婦人会
	10月 7日	山梨県笛吹市芦川地区民生児童委員協議会
	10月 9日	愛知県豊田市崇化館地区民生児童委員協議会
	10月11日	群馬県前橋市大胡地区社会福祉協議会
	10月11日	神奈川県向上高等学校
	10月17日	神奈川県川崎市登戸地区民生児童委員協議会
	11月 8日	熊本県南小国町民生児童委員協議会
	11月 9日	千葉県浦安市社会福祉協議会
	11月11日	茨城県土浦市社会福祉協議会
	11月15日	群馬県玉村町ボランティア連絡協議会
	11月16日	東京都南多摩ブロック社会福祉協議会
	11月17日	千葉県船橋市ボランティア連絡協議会
	11月26日	神奈川県川崎市高津区民生児童委員協議会
	11月30日	茨城県石岡市社会福祉協議会
	12月 5日	埼玉県狭山市社会福祉協議会富士見支部
	12月13日	群馬県吉岡町社会福祉協議会
平成26年	1月 8日	福岡県立修猷館高等学校
	1月21日	熊本県長洲町会議員
	3月 6日	群馬県前橋市民生児童委員協議会
	3月10日	千葉県浦安市婦人会
	3月11日	千葉県栄町社会福祉協議会
	3月18日	千葉県印西市社会福祉協議会
	3月19日	立教大学

## ○ 各種福祉講座等へ職員を講師として派遣

ボランティア講座や介護講座などの講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

また、東日本大震災における災害救援・復興支援活動等について県内外へ講師として職員を派遣し、本会の取り組みや本市の現状等を紹介した。

### <地域福祉活動事業関係>

平成25年 5月14日 現場実習施設の理解・社会福祉協議会と地域福祉の現状・  
福祉専門職について（いわき明星大学）

### <日常生活自立支援事業関係>

平成25年 4月25日 明治団地婦人会総会（明治団地公民館）  
平成26年 2月 6日 三和地区民生児童委員協議会定例会（三和ふれあい館）

### <ボランティア事業関係>

平成25年 4月19日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立綾小学校）  
5月20日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（県立好間高等学校）  
6月 5日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立大浦小学校）  
6月27日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立小名浜第三小学校）  
7月 2日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立三和中学校）  
7月 4日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立勿来第一中学校）  
7月 8日 きょうされん第36回全国大会in東北ふくしまボランティア講座（昌平學）  
9月 3日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立小川小学校）  
9月 4日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立中央台南中学校）  
9月18日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立内郷第二中学校）  
9月20日 四倉地区いきいきデイクラブ事業に係る講師派遣（四倉地区協議会）  
9月25日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立江名中学校）  
10月28日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立内郷第一中学校）  
11月 1日 青少年福祉体験学習に伴う講師派遣（市立内郷永井小学校）  
11月 7日 青少年福祉体験学習に伴う講師派遣（市立三坂小学校）  
11月 7日 中級手話講習会における講義講師について（サンアビリティーズ）  
11月26日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立四倉小学校）  
11月26日 青少年福祉体験学習に係る講師派遣（市立大野第二小学校）  
平成26年 1月15日 はじめよう！ボランティア講座（いわき市生涯学習プラザ）  
2月12日 青少年福祉体験講話（市立沢渡小学校）  
2月23日 ユニバーサルデザイン推進セミナー（いわき市生涯学習プラザ）

<災害救援・復興支援ボランティアセンター事業関係>

- 平成25年 4月20日 勿来地区ボランティア連絡会主催ボランティア講話(いわき市勿来地区)  
5月13日 ひたちなか市ボランティア連絡協議会講演会(茨城県)  
8月27日 国際仏教徒青年交換プログラム講話(いわき市常磐地区)  
9月 9日 北薩地区社会福祉協議会災害時相互応援協定締結式記念講演  
(鹿児島県)  
9月28日 地域福祉フォーラム(千葉県)  
10月24日 都城市地域福祉推進大会(宮崎県)  
10月25日 児童を対象とした災害学習講座(宮崎県)  
11月28日 地域コミュニティ再生のための県民講座(いわき市平地区)  
12月 3日 県中痴呆知己包括・在宅介護支援センター協議会(郡山市)  
12月 6日 奄美地区社会福祉協議会災害時相互応援協定締結式開催記念講演  
(鹿児島県)
- 平成26年 2月11日 福島×JVCA 分かち合いセミナー(東京都)  
2月12日 いわき勿来ロータリー卓話(いわき市勿来地区)  
3月 5日 いわき市復興支援ボランティアセンター講話(いわき市勿来地区)  
3月15日 シンポジウム ここから未来を考える(いわき市小名浜地区)

<ホームヘルプセンター事業関係>

- 平成25年 5月24日 市認知症サポーター養成講座・講話(市総合保健福祉センター)  
8月22日 介護講座・講話&実技(田人支所会議室)  
9月 4日 福祉体験学習・介護教室&実技(市立中央台南中学校)  
9月18日 介護教室・(好間公民館)  
9月24日 市内事業所交流会・事例発表「訪問リハビリとの連携」  
(市総合保健福祉センター)  
10月 1日 介護教室・介護技術&腰痛予防体操(小名浜市民会館)  
10月15日 介護教室(好間公民館)  
11月20日 市認知症サポーター養成講座・講話(市総合保健福祉センター)  
11月30日 常磐地区高齢者スポーツ大会(市立湯本第一小学校)  
平成26年 3月 6日 市認知症サポーター養成講座・講話(飯野公民館)

○ 各種福祉講座等の講師の連絡調整

地域で行われる福祉講座等の講師の連絡・調整に努めた。

## 基本計画1-5 ボランティア（NPO）活動の育成・支援

実施項目／実施内容	備考																		
<p>○ ボランティア保険の加入促進</p> <p>市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償責任を求められたときに補償する、ボランティア活動保険などへの加入を促進した。</p> <p>1 ボランティア活動保険</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラン</th><th>保険料（掛金）</th><th>加入者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Aプラン</td><td>300円</td><td>1,088名</td></tr> <tr> <td>Bプラン</td><td>450円</td><td>90名</td></tr> <tr> <td>天災Aプラン</td><td>460円</td><td>433名</td></tr> <tr> <td>天災Bプラン</td><td>690円</td><td>94名</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>1,705名</td></tr> </tbody> </table> <p>(24年度：1,518名)</p> <p>2 ボランティア行事用保険</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加入申込み行事件数 19件（24年度：11件）</li> </ul>	プラン	保険料（掛金）	加入者数	Aプラン	300円	1,088名	Bプラン	450円	90名	天災Aプラン	460円	433名	天災Bプラン	690円	94名			1,705名	
プラン	保険料（掛金）	加入者数																	
Aプラン	300円	1,088名																	
Bプラン	450円	90名																	
天災Aプラン	460円	433名																	
天災Bプラン	690円	94名																	
		1,705名																	
<p>○ ボランティア基金の運営</p> <p>福祉活動に関する地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・支援することを目的としてボランティア基金運用収益の配分を行った。</p> <p>1 ボランティア基金運営委員会の開催</p> <p>開催日：平成25年11月7日 開催場所：社会福祉センター 内容：ボランティア基金収益助成の配分について</p> <p>2 ボランティア基金配分の実施</p> <p>配分団体・グループ数：15団体・グループ（24年度：12グループ） 配分総額：2,716,000円（24年度：3,765,000円）</p>	関係資料 P.10 ～11																		
<p>○ いわき市ボランティア連絡協議会活動の支援</p> <p>いわき市内のボランティア団体が相互交流や情報交換、またリーダー研修や情報紙の発行などを通して、ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」の活動支援を行った。</p>	再掲																		

## ○ 民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援

民間の公益補助団体等がボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。

〈紹介・斡旋助成金名称〉

- (1) 福島県赤い羽根共同募金会助成 一般公募
- (2) 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」住民支え合い活動助成
- (3) 財団法人 車両競技公益資金記念財団助成
- (4) 第25回地域を支援するわかば基金
- (5) 東日本大震災支援プログラムユニバースル財団特定活動助成
- (6) 公益財団法人 大和証券福祉財団助成金
- (7) 東北ろうきん復興支援助成金
- (8) ふくしま元気市民活動助成金
- (9) ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金
- (10) 第23回民報厚生文化奨励金
- (11) 駒澤嘉いわき生涯学習振興基金
- (12) さわやか福祉財団「連合・愛のカンパ」助成金
- (13) 公益財団法人福島県総合社会福祉基金
- (14) 第26回地域を支援するわかば基金
- (15) みずほ教育福祉財団第31回「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成

## ○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施

市内で活動する福祉団体やボランティア団体等の各種研修会や大会等への参加を支援し、地域福祉の向上に寄与することを目的として、バス借上げ費用の一部を助成した。(助成は、年1回。バス借上げ経費の50%、3万円を上限。1泊以上の場合は、5万円を上限。)

- ・ 助成団体数 17団体 (24年度: 14団体)
- ・ 助成金 638,825円 (〃 : 578,350円)

## ○ ボランティアルーム等の貸出

ボランティア相互の情報交換や交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルーム等を無料で提供した。

- ・ ボランティアルームの貸出 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

提供場所	社会福祉センター 1階	利用件数	利用者数
利用時間	午前9時から午後9時		
使用料	無料(要予約)	198件	1,187名

- ・ 放送室の貸出 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

488件

※ 利用者数 616名

- ・ コピー機の提供 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

393件

- ・ ロッカーの貸出 (平成26年3月31日現在)

10個(18個中)

<p>○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）</p> <p>各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p>	再掲
<p>○ 市内外の NPO 団体との連携・協働</p> <p>市内外の NPO 団体等と連携・協働し、被災者支援活動を行うとともに地域づくりに努めた。</p>	

基本目標 2 地域を支えるネットワークづくり	
基本計画 2-1 地域住民の相互理解と協力の実現	
実施項目／実施内容	備考
<p>○ 小地域福祉活動の促進</p> <p>行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域は地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。</p>	再掲
<p>○ 小地域福祉活動連絡会の開催</p> <p>「地域は地域で支え合う」ことを基本に、地域の福祉課題の解決に向けて、地域住民自ら協働してすすめる小地域福祉活動の指定行政区による連絡会を開催し、相互の情報交換や意見交換等を通じて、小地域における住民福祉活動の充実強化に努め、福祉コミュニティづくりを促進した。</p>	再掲
<p>○ 地域福祉推進支援事業の実施</p> <p>少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するため、本事業を推進した。</p>	再掲

## ○ いきいきデイクラブ事業の推進

地域における高齢者の自主的な介護予防に資する活動を育成・支援し、介護予防に関する知識の普及啓発を行うことにより、高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長、要支援・要介護予防を図ること。また、これらの活動を通じて、高齢者が自主的に介護予防に取り組むことができる地域社会を構築することを目的に実施した。

- ・ 利用対象者…市内在住のおおむね 65 歳以上の高齢者
- ・ 主な活動内容…教養講座／運動機能の維持又は向上活動／創作活動／趣味活動／会食活動など
- ・ 参 加 費…無料（原材料費等の実費は利用者負担）

### <地区別利用状況>

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

地区名 (実施箇所数)	実施日数		地区名 (実施箇所数)	実施日数		地区名 (実施箇所数)	実施日数	
	実施日数	延利用人数		実施日数	延利用人数		実施日数	延利用人数
平 (12)	130		四倉 (10)	105		田人 (9)	86	
	2,462			1,631			1,300	
小名浜 (16)	198		遠野 (7)	79		川前 (4)	45	
	3,160			1,208			780	
勿来 (11)	114		小川 (5)	57		久之浜・大久 (4)	33	
	1,657			710			446	
常磐 (4)	80		好間 (10)	90		合計 (113)	1,185	
	477			1,512			18,999	
内郷 (15)	179		三和 (7)	39				
	3,095			561				

(24年度：96箇所／1,057日／16,905名)

## ○ いきいきデイクラブおせち料理支援事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進等図るため、「いきいきデイクラブ」及び津波被災地域の高齢者の交流と健康づくりを目的とした「いきいき交流サロン」において提供する「おせち料理」に係る経費の一部を負担し、利用者が新しい年を迎えるよう支援した。

- ・ 事業実績 2,618名（24年度：2,239名）

関係  
資料  
P.13

## ○ 地域子育て支援拠点事業の実施（カンガルーひろば）

子育て親子が気軽にかつ自由に利用できる交流の場を設置し、子育てに関する相談・援助や情報提供などに努めた。

### 年間利用件数

ひろばの利用件 (名)			育児などに関する 相談件数 (件)
大人	子人	合計	
3,388	3,345	6,733	84

(24年度：4,969名 37件)

○ 子育てサロン活動の促進

子育て中の親等が、子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てへ転換できるよう支援することを目的として、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。

1 子育てサロンの実施状況

地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容
平	7	80	749	季節行事や自由遊び、情報交換等
小名浜	2	20	386	"
勿来	2	18	331	"
常磐	2	20	226	"
内郷	2	21	297	"
四倉	1	12	141	"
遠野	1	11	130	"
小川	1	11	87	"
好間	2	17	162	"
三和	1	7	59	"
田人	1	11	124	"
久之浜・大久	1	12	129	"
計	23	240	2,821	

(24年度 239回 2,755組)

2 子育てサロンの円滑な運営を図るため、地域内の関係機関団体との連絡会を実施した。

○ 子育てサロン歳末支援事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロンで行うクリスマス会等の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、子育て親子が明るく元気に新年を迎えるよう支援した。

・事業実績 896名 (24年度 789名)

関係資料  
P.13

○ 緊急連絡カード配備事業の推進

緊急連絡カードの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。

〈配備状況〉

(単位:名)

地区名	配備者数	地区名	配備者数	地区名	配備者数
平	1,790	四倉	331	田人	72
小名浜	840	遠野	79	川前	52
勿来	532	小川	173	久之浜・大久	116
常磐	279	好間	310	計	5,588
内郷	797	三和	217		

(24年度 5,010名)

<p>○ 日常生活圏域の設定による地域福祉推進基礎組織の研究</p> <p>小学校区や中学校区等の日常生活圏域における住民福祉活動の推進など、新たな取り組みが想定されるため、今後の住民福祉活動の圏域設定とその活動母体となる推進組織のあり方についての研修会に職員を派遣した。</p>	
<p>○ 生活困窮世帯見舞金配分事業の推進</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給付実績 902世帯 2,078名 13,907,230円 (24年度：979世帯 2,287名 13,714,000円)</li> </ul> <p>※ 給付額：1世帯10,000円を基本。家族が1人増えるごとに3,000円加算。</p>	関係資料 P.13
<p>○ 住居環境整備・補修等サービス事業の実施</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実績 13件（24年度：9件）</li> </ul>	関係資料 P.13
<p>○ 介護用防水シーツ給付事業の推進</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シーツを給付し、在宅での生活や介護を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給付人数 284名（24年度：298名）</li> </ul>	関係資料 P.13
<p>○ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施</p> <p>いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施するひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動事業に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金（400,000円）を交付し、その活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問実績 503名（寝たきり高齢者 64名、ひとり暮らし高齢者 439名） (24年度： 515名（寝たきり高齢者 69名、ひとり暮らし高齢者 446名）</li> </ul>	
<p>○ 小規模障がい（児）者通所施設支援事業</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい（児）者通所施設が行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実績 34施設 941名（24年度：28施設 737名）</li> </ul>	関係資料 P.13

○ 百歳賀寿の実施

百歳を迎えた高齢者に対し記念品を贈呈することにより、その長寿を祝い、併せて市民の高齢者福祉への関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康増進に努める意欲の向上を図った。

居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）
平	18	四倉	2	田人	1
小名浜	9	遠野	2	川前	0
勿来	15	小川	2	久之浜・大久	2
常磐	3	好間	1	計	60
内郷	4	三和	1		

(24年度：67名)

基本計画2-2 緊急時・災害時における対策

実施項目／実施内容	備考
○ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施  いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施するひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動事業に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金（400,000円）を交付し、その活動を支援した。	再掲
○ 緊急連絡カード配備事業の推進  緊急連絡カードの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。	再掲
○ 福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施  歳末たすけあい運動の一環として、緊急連絡カードを配備しているひとり暮らし高齢者等に対し、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。  ・ 健康カレンダーを市内11,500世帯に配布	関係資料 P.13

## ○ 復興支援（災害救援）ボランティアセンターの運営

東日本大震災により、市をはじめとする関係機関との協働で「いわき市災害救援ボランティアセンター」を設置し、市民はもとより全国各地からのボランティアの協力を得ながら被災地復興にあたってきた。震災後の時間の経過とともに被災された方々の生活復興支援やコミュニティづくりが最重要課題となつたため、同年8月からは「いわき市復興支援ボランティアセンター」へ機能・名称を変更するとともに生活支援相談員等を新たに配置し、被災者の生活復興支援に取り組んでいる。

### 1 活動内容

- (1) 生活支援相談員を中心とする被災者の見守りと生活支援に関する情報提供
- (2) サロン（交流会）やイベントをとおしての地域コミュニティづくり
- (3) 災害復旧支援活動（被災家屋・地域の片づけ、引越しのお手伝いなど）

<ボランティアの活動状況>（平成26年3月31日現在）

- |              |          |
|--------------|----------|
| ・ ボランティア活動者数 | 60, 173名 |
| ・ ニーズ受付件数    | 7, 521件  |
| ・ マッチング件数    | 7, 497件  |

### 2 具体的な取り組み（平成26年3月31日現在）

- (1) 生活支援相談員配置事業 27名  
(県社協委託事業17名・いわき市委託事業：見守り支援事業10名)

・ 対象世帯数	1, 923世帯
・ 訪問状況	76, 428件（延べ）
・ 交流会実施回数	728回
- (2) 復興支援ボランティアセンターブログ  
インターネットブログを開設し、市内外へ災害救援や復興支援活動の情報をより早く提供するとともに、インターネットブログを書籍化し、復興支援ボランティアセンター事業運営の周知を図った。（平成23年4月24日開設）

・ 更新回数	678回（平成26年3月31日現在）
・ ブログ本	（平成23年4月24日～平成24年3月31日分掲載） (復興支援ボランティアセンターの発行（日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト事業）
- (3) 平七夕まつりへの参加  
本市の復興及び復興支援ボランティアセンター事業運営の周知を図るため、笹飾りを作成し、七夕飾り会場に展示した。（8月6日～8月8日）
- (4) 「0246プロジェクト」の開催（日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト事業）  
災害救援ボランティアセンター立ち上げから約6万人のボランティアの方々がいわき市の復興のため活動してくれたことに感謝するとともに、いわきのこれからについて共に考えることをテーマとして「0246プロジェクト」を開催した。

・ 日 時	平成26年3月16日
・ 場 所	社会福祉センター
・ 内 容	パネルトーク、ボランティア交流会、記念講演、ミニコンサート、炊き出し
・ 参加者	約300名（ボランティア活動者、ボランティアに関心のある方、本会役職員など）

## ○ 市内外のNPO団体との連携・協働

市内外のNPO団体等と連携・協働し、被災者支援活動を行うとともに地域づくりに努めた。

再掲

○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）	再掲																																																										
各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。																																																											
○ 災害見舞金支給事業																																																											
火災、水害等の罹災者に対し、共同募金の配分を受けて、見舞金の支給を行った。																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="4">災害内容件数（件）</th> <th rowspan="2">配分額（円）</th> </tr> <tr> <th>火災</th> <th>床上浸水</th> <th>その他</th> <th>合計（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>75,000</td> </tr> <tr> <td>小名浜</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>勿来</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>常磐</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>75,000</td> </tr> <tr> <td>内郷</td> <td>2</td> <td>99</td> <td>0</td> <td>101</td> <td>515,000</td> </tr> <tr> <td>四倉</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>好間</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>127</td> <td>4</td> <td>139</td> <td>775,000</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）	火災	床上浸水	その他	合計（件）	平	2	9	2	13	75,000	小名浜	1	0	1	2	35,000	勿来	1	5	0	6	60,000	常磐	0	14	1	15	75,000	内郷	2	99	0	101	515,000	四倉	1	0	0	1	5,000	好間	1	0	0	1	10,000	計	8	127	4	139	775,000	(24年度： 23件 225,000円)
地区名		災害内容件数（件）					配分額（円）																																																				
	火災	床上浸水	その他	合計（件）																																																							
平	2	9	2	13	75,000																																																						
小名浜	1	0	1	2	35,000																																																						
勿来	1	5	0	6	60,000																																																						
常磐	0	14	1	15	75,000																																																						
内郷	2	99	0	101	515,000																																																						
四倉	1	0	0	1	5,000																																																						
好間	1	0	0	1	10,000																																																						
計	8	127	4	139	775,000																																																						
* 見舞金の額は罹災者1世帯当たり10,000円（半焼、床上浸水は5,000円）、死亡者1名につき10,000円を加算。																																																											
○ 小地域福祉活動の促進	再掲																																																										
行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。																																																											

基本計画2-3 地域住民、事業者及び市との連携・協働	
実施項目／実施内容	備考
○ 地域福祉推進支援事業の実施	再掲

少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するため、本事業を推進した。

<p>○ 地区協議会主体の住民福祉懇談会の開催</p> <p>地区協議会が地域住民や関係機関・団体等と協働して取り組む地区版地域福祉活動計画を策定するため住民福祉懇談会を開催した。</p> <p>住民福祉懇談会で挙げられた「地域ネットワークの強化」や「地域活動の核となる人材の育成・発掘」といった住民の「声」を地区版地域福祉活動計画に反映させた。</p>	再掲
<p>○ 日常生活圏域の設定による地域福祉推進基礎組織の研究</p> <p>小学校区や中学校区等の日常生活圏域における住民福祉活動の推進など、新たな取り組みが想定されるため、今後の住民福祉活動の圏域設定とその活動母体となる推進組織のあり方についての研修会に職員を派遣した。</p>	再掲

### 基本目標3 住民一人ひとりに対応した多様なサービスの仕組みづくり

### 基本計画3-1 サービスの情報提供・相談窓口の確立

<p>○ 広報紙の発行</p> <p>社会福祉協議会の取り組みに対し、理解と協力をいただくため広報紙を発行した。      また、地区協議会独自の広報紙も発行して、地域福祉活動に対する更なる理解の促進に努めた。      なお、広報紙の編集にあたっては、役員と職員からなる広報委員会を設置し、より親しみやすい広報紙づくりに努めた。      さらに、平成25年度は、韓国共同募金会から助成を受け「地区社協だより」を全地区に配付し、より地域に密着した広報活動に努めた。</p>	再掲
<p>○ ボランティア活動センターだよりの発行</p> <p>ボランティア活動センターの事業案内やボランティアグループの紹介等を通して、ボランティア活動の推進を図るため広報紙を発行した。</p>	再掲
<p>○ 子育て支援情報誌の発行</p> <p>いわき市内で子育てに役立つ保健・福祉・教育等の制度・サービスやさまざまな社会資源を網羅した情報誌を発行し、子育て中の親と子が安心して生活できるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年3月 「子育てくらしのガイドブック」平成26年度版発行（5,000部）</li> <li>※ 主に各地区保健福祉センターにおいて親子健康手帳を交付する際に配布</li> </ul>	
<p>○ 福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、緊急連絡カードを配備しているひとり暮らし高齢者等に対し、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。</p>	再掲
<p>○ 地域子育て支援拠点事業の実施（カンガルーひろば）</p> <p>子育て親子が気軽にかつ自由に利用できる交流の場を設置し、子育てに関する相談・援助や情報提供などに努めた。</p>	再掲

## ○ 被災者生活支援事業

被災者の再建が徐々に進んできている今日、復興支援ボランティアセンター（生活支援相談員）及び地区社協職員が今まで以上に情報共有や連携を図りながら被災者支援事業に取り組む。

（例：民間借上げ住宅等に居住する被災者への既存事業の周知や地域住民等との交流会の開催に加え、地元に戻ってきた住民へのサロン活動等の開催）

津波被災地域高齢者の交流と健康づくり事業（いきいき交流サロン）

津波被災地域の被災高齢者の閉じこもりや生活不活発病を防止するため、対象者として市内の4施設（新舞子ハイツ・ゆったり館・勿来の閑荘・かんぽの宿）に交流の場を設けるとともに、健康づくりのための介護予防運動を実施した。

1 登録者数 511名（平成26年4月1日現在）

2 事業実績 ①実施回数 139回 ②参加人数 3,680名（延べ）  
(24年度：141回／3,373名)

3 実施内容 軽度の運動、会食、入浴、生活相談、健康相談等

4 対象者数

市内の津波浸水区域のうち被災した高齢者（65歳以上の方）

(1) 津波被災地域に居住している高齢者

約800名

(2) 津波被災地域から市内の一時提供住宅等に避難している高齢者

約1,200名

5 実施期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで（平成26年度も継続）

## ○ ホームページの充実

インターネットホームページを開設し、市内外へ地域福祉情報をより早く提供するとともに、社会福祉協議会事務事業運営の透明性を高めた。

・ 平成25年度アクセス件数 15,560件（24年度：17,875件）  
総アクセス件数（平成26年4月1日現在） 145,473件

## ○ 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。

1 生活福祉資金貸付状況（生活復興支援資金含む）

- ・ 貸付決定件数：94件（平成24年度：109件）
- ・ 貸付決定総額：14,757,500円（平成24年度：23,051,000円）

関係  
資料  
P.17

○ 生活資金貸付事業

低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るために資金貸付を行った。

1 生活資金貸付状況

- ・ 貸付決定件数：161件（平成24年度：169件）
- ・ 貸付決定総額：4,002,300円（平成24年度：4,592,300円）

<内訳>

取扱地区	貸付決定件数(件)	貸付決定総額(円)	取扱地区	貸付決定件数(件)	貸付決定総額(円)
平	49	1,194,000	常磐	29	704,300
小名浜	38	509,000	内郷	31	1,225,000
勿来	14	370,000	計	161	4,002,300

○ 法外援助事業

行路人で所持金を持たない者に対し、市外までの旅費を支給した。

- ・ 支給件数 44件 (平成24年度：60件)
- ・ 支給金額 33,980円 (平成24年度：48,500円)

基本計画3-2 サービス提供者の育成・支援

実施項目／実施内容	備考
○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携 1 民生児童委員との連携強化 情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。 2 行政嘱託員（区長）との連携強化 さまざまな地域活動の中核として活動されている行政嘱託員・区長との連携を強化し、各種募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。	再掲
○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催 平成25年度いわき市社会福祉協議会事業計画、主な推進事業、いわき市復興支援ボランティアセンター等について説明を行い、共通理解と協力を得るとともに意見の交換を行った。	再掲
○ 小地域福祉活動の推進 行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域は地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。	再掲

<p>○ 小地域福祉活動連絡会の開催</p> <p>「地域は地域で支え合う」ことを基本に、地域住民が自ら地域の福祉課題の解決に向けた小地域福祉活動を実施している各行政区等による連絡会を開催し、相互の情報交換や意見交換等を通じて、小地域における住民福祉活動の充実強化に努め、福祉コミュニティづくりを促進した。</p>	再掲								
<p>○ 地域福祉推進支援事業の実施</p> <p>少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するため、本事業を推進した。</p>	再掲								
<p>○ 被災者生活支援事業</p> <p>被災者の再建が徐々に進んできている今日、復興支援ボランティアセンター（生活支援相談員）及び地区社協職員が今まで以上に情報共有や連携を図りながら被災者支援事業に努めた。      （例：民間借上げ住宅等に居住する被災者への既存事業の周知や地域住民等との交流会の開催に加え、地元に戻ってきた住民へのサロン活動等の開催）</p>	再掲								
<p>○ 地区協議会主体の住民福祉懇談会の開催</p> <p>地区協議会が地域住民や関係機関・団体等と協働して取り組む地区版地域福祉活動計画を策定するため住民福祉懇談会を開催した。      住民福祉懇談会で挙げられた「地域ネットワークの強化」や「地域活動の核となる人材の育成・発掘」といった住民の「声」を地区版地域福祉活動計画に反映させた。</p>	再掲								
<p>○ 住民参加型在宅福祉サービス活動の支援</p> <p>地域密着型で実施されている給食サービスや会食サービス、デイサービスなどの住民参加型在宅福祉サービスに対し、協働活動やボランティア基金からの助成等を通じて活動を支援した。</p>	再掲								
<p>○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）</p> <p>各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p>	再掲								
<p>○ 社会福祉セミナーの開催</p> <p>市内の社会福祉施設を経営する社会福祉法人等の理事長、社会福祉施設の施設長、社会福祉協議会役員等を対象に、社会福祉セミナーを開催した。      なお、平成25年度の実施にあたっては、福祉避難所の運営について理解を深めた。</p> <table border="1" data-bbox="244 1680 1124 1979"> <tr> <td>開催日</td><td>平成26年2月13日</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>いわき市社会福祉センター 大会議室</td></tr> <tr> <td>内 容</td><td>講演：「ここだけは押さえておきたい 福祉避難所のこと、そして・・・」 講師：NPO 法人さくらネット代表理事 石井 布紀子 氏</td></tr> <tr> <td>参加人数</td><td>約80名</td></tr> </table>	開催日	平成26年2月13日	開催場所	いわき市社会福祉センター 大会議室	内 容	講演：「ここだけは押さえておきたい 福祉避難所のこと、そして・・・」 講師：NPO 法人さくらネット代表理事 石井 布紀子 氏	参加人数	約80名	
開催日	平成26年2月13日								
開催場所	いわき市社会福祉センター 大会議室								
内 容	講演：「ここだけは押さえておきたい 福祉避難所のこと、そして・・・」 講師：NPO 法人さくらネット代表理事 石井 布紀子 氏								
参加人数	約80名								

### 基本計画3-3 サービス利用に係る意識改革

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 福祉総合相談活動の充実</p> <p>地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。</p>	再掲
<p>○ いきいきデイクラブ事業の推進</p> <p>地域における高齢者の自主的な介護予防に資する活動を育成・支援し、介護予防に関する知識の普及啓発を行うことにより、高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長、要支援・要介護予防を図ること。また、これらの活動を通じて、高齢者が自主的に介護予防に取り組むことができる地域社会を構築することを目的に実施した。</p>	再掲
<p>○ 地域子育て支援拠点事業の実施（カンガルーひろば）</p> <p>子育て親子が気軽にかつ自由に利用できる交流の場を設置し、子育てに関する相談・援助や情報提供などに努めた。</p>	再掲
<p>○ 子育てサロン活動の促進</p> <p>子育て中の親等が、子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てへ転換できるよう支援することを目的として、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。</p>	再掲
<p>○ 緊急連絡カード配備事業の推進</p> <p>緊急連絡カードの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯等の見守りや日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。</p>	再掲

### 基本計画3-4 利用者主体のサービスの実現

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 地域福祉推進支援事業の実施</p> <p>少子・高齢化の進行や地域のつながりの希薄化などに加え、東日本大震災等の影響により、高齢者のみ世帯の増加や地域コミュニティが弱体化し、ひとり暮らし高齢者や障がい者、被災者などが地域で孤立化する傾向が一層強くなっていることから、地域住民が主体となった見守りやケア、さらには地域のつながりの再生に向けた取組みを支援するため、本事業を推進した。</p>	再掲
<p>○ 被災者生活支援事業</p> <p>被災者の再建が徐々に進んできている今日、復興支援ボランティアセンター（生活支援相談員）及び地区社協職員が今まで以上に情報共有や連携を図りながら被災者支援事業に努めた。 (例：民間借上げ住宅等に居住する被災者への既存事業の周知や地域住民等との交流会の開催に加え、地元に戻ってきた住民へのサロン活動等の開催)</p>	再掲

○ ボランティア保険の加入促進	再掲
市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などに備えることと、活動先からの賠償責任を求められたときに補償する、ボランティア活動保険などへの加入を促進した。	
○ ボランティア基金の運営	再掲
福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・支援することを目的として、ボランティア基金運用収益の配分を行った。	
○ いわき市ボランティア連絡協議会活動の側面支援	再掲
いわき市内のボランティア団体が相互交流や情報交換、またリーダー研修や情報紙の発行などを通して、ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」の活動支援を行った。	
○ 民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援	再掲
民間の公益補助団体等がボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。	
○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施	再掲
市内で活動する福祉団体やボランティア団体等の各種研修会や大会等への参加を支援し、もって、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成した。 (助成は、年1回。バス借上げ経費の50%、3万円を上限。1泊以上の場合は、5万円を上限。)	
○ ボランティアルーム等の貸出	再掲
ボランティア相互の情報交換や交流の場、さらには活動拠点として、ボランティアルーム等を無料で提供した。	
○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）	再掲
各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。	

○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の実施

判断能力が十分でなくなっている方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が地域で安心して暮らせるよう、福祉サービス利用の手続き支援、金銭管理等を実施した。

1 本事業に関わる職員

- \* 専門員： 利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤2名配置）
- \* 生活支援員： 専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。  
(非常勤21名配置)

2 相談の状況

(件)

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1 認知症高齢者	8	1	441	450
2 知的障がい者	0	1	184	185
3 精神障がい者	4	4	440	448
4 不明・その他(身体障がい者他)	12	5	264	281
計	24	11	1,329	1,364

(24年度: 29件 36件 957件 1,022件)

3 契約の状況

平成25年度の契約件数11件

(認知症高齢者 6件 知的障がい者 1件 精神障がい者 2件 その他 2件)

4 利用者の状況（継続利用者32名）

(名)

	H11～22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	契約	解約	契約	解約	契約	解約	契約	解約
認知症高齢者等	24	13	8	5	1	2	6	5
知的障がい者	3	1	0	0	0	0	1	0
精神障がい者	8	2	1	0	2	2	2	0
その他	17	10	1	1	1	2	2	0
計	52	26	10	6	4	6	11	5

5 関係機関・団体等への制度周知（講師派遣）

平成25年4月25日 明治団地婦人会総会（明治団地公民館）

平成26年2月 6日 三和地区民生児童委員協議会定例会（三和ふれあい館）

○ 福祉総合相談活動の充実

再掲

地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。

基本計画3-5 保健・医療・福祉など関連分野の連携

実施項目／実施内容	備考								
<p>○ いわき市総合社会福祉大会の開催</p> <p>市内の保健・医療・福祉・教育等の関係機関・団体及び一般市民が一堂に会し、広く福祉問題を考え、本市の社会福祉を総合的に高めるとともに、市の「いわき市地域福祉計画」と本会の「第2次地域福祉活動計画」とともに掲げる「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」の実現へ向け、「人と人とのつながり」を再構築するとともに、お互いに助け合い、支え合える福祉のまちづくりへ発展させていくため開催した。</p> <p>平成25年 7月18日「第39回いわき市総合社会福祉大会」事務局会議（社会福祉センター）            8月 8日「第39回いわき市総合社会福祉大会」運営委員会（社会福祉センター）            10月 7日「第39回いわき市総合社会福祉大会」合同職員会議（社会福祉センター）</p>									
<p>&lt;第39回いわき市総合社会福祉大会&gt;</p>									
開催日	平成25年11月18日								
開催場所	いわき市文化センター								
記念講演	あんサポ劇団（本会職員）による「あんしんサポート事業紹介寸劇」								
参加者数	486名								
表彰等	<table border="1"> <tr> <td>1 市長感謝状贈呈</td><td>6名</td></tr> <tr> <td>2 大会会長表彰状贈呈</td><td>90名</td></tr> <tr> <td>3 大会会長感謝状贈呈</td><td>6名／3団体</td></tr> <tr> <td>計</td><td>102名／3団体</td></tr> </table> <p>(24年度：227名／4団体)</p>	1 市長感謝状贈呈	6名	2 大会会長表彰状贈呈	90名	3 大会会長感謝状贈呈	6名／3団体	計	102名／3団体
1 市長感謝状贈呈	6名								
2 大会会長表彰状贈呈	90名								
3 大会会長感謝状贈呈	6名／3団体								
計	102名／3団体								
<p>○ 各種大会への参加</p> <p>各種大会等に役職員が参加し、他団体からの参加者との交流や情報交換等を通じて、地域福祉活動の推進に努めた。</p> <p>平成25年11月15日 第67回福島県社会福祉大会（相馬市民会館）            平成26年 3月 5日 市町村社会福祉協議会トップセミナー及び明日へ向かう社会福祉のつどい（郡山市ピックパレットふくしま）</p>									

## ○ 地域ケア会議への参画

地域ケア会議（地域包括支援センター主催）に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるための体制づくりに努めた。

平成25年	4月 4日	第1回草野地区地域ケア会議／草野公民館（平）
	5月 28日	上好間地域ケア会議／内ノ草集会所（好間）
	6月 11日	第5回ほほえみネットワーク好間定例会／好間公民（好間）
	7月 9日	宮2区あんしん見守り隊連絡懇談会／宮沢集会所（内郷）
	6月 11日	錦町大倉地区地域ケア会議／錦町中央集会所（勿来）
	7月 4日	第1回たっしゃか草野／草野公民館（平）
	7月 23日	第1回下川地区地域ケア会議／下川公民館（小名浜）
	7月 25日	第1回地域ケア推進会議／小名浜支所（小名浜）
	7月 30日	川前地区地域ケア会議／川前活性化センター（川前）
	8月 27日	第2回下川地区地域ケア会議／下川公民館（小名浜）
	9月 9日	第1回藤原地区地域ケア会議／藤原公民館（常磐）
	9月 11日	第6回ほほえみネットワーク好間定例会／好間公民（好間）
	9月 26日	第1回郷ヶ丘1丁目地区地域ケア会議／郷ヶ丘1丁目館（平）
	10月 25日	下根本ケア地区会議／下根本構造改善センター（遠野）
	10月 17日	第2回九面地区地域ケア会議／市漁協組合勿来支所（勿来）
	10月 24日	第2回地域ケア推進会議／小名浜支所（小名浜）
	10月 24日	第1回川部地区地域ケア会議／川部公民館（勿来）
	11月 7日	第2回たっしゃか草野／草野公民館（平）
	11月 8日	第1回桜ヶ丘地域ケア会議／桜ヶ丘集会所（常磐）
	11月 12日	第1回傾城緑ヶ丘地域ケア会議／傾城緑ヶ丘団地集会所（常磐）
	11月 15日	第3回赤沼地区地域ケア会議／赤沼構造改善センター（平）
	11月 16日	第1回希望ヶ丘地域ケア会議／希望ヶ丘集会所（常磐）
	11月 21日	第2回郷ヶ丘1丁目地区地域ケア会議／郷ヶ丘1丁目館（平）
	12月 7日	第4回赤沼地区地域ケア会議／赤沼構造改善センター（平）
	12月 7日	第2回希望ヶ丘地域ケア会議／希望ヶ丘集会所（常磐）
	12月 11日	第3回郷ヶ丘1丁目地区地域ケア会議／郷ヶ丘1丁目館（平）
	12月 11日	第7回ほほえみネットワーク好間定例会／好間公民（好間）
	12月 10日	錦地区地域ケア会議／市老人福祉センター（勿来）
	12月 16日	東田地区地域ケア会議／東田公民館（勿来）
平成26年	1月 11日	第5回赤沼地区地域ケア会議／赤沼構造改善センター（平）
	1月 18日	高坂住吉あんしん見守り隊地域ケア会議／住吉神社社務所（内郷）
	1月 30日	第3回地域ケア推進会議／小名浜公民館（小名浜）
	2月 6日	第3回たっしゃか草野／草野公民館（平）
	2月 14日	第1回浅貝地域ケア会議／いわきサン・アビリティーズ（常磐）
	2月 22日	高坂ふくろう見守り隊発足式／住吉神社（内郷）
	2月 25日	第1回沼ノ内地区地域ケア会議／沼ノ内公民館（平）
	2月 25日	第2回傾城緑ヶ丘地域ケア会議／傾城緑ヶ丘団地集会所（常磐）
	2月 26日	小久地区地域ケア会議／小久集会所（久之浜・大久）
	3月 1日	第6回赤沼地区地域ケア会議／赤沼構造改善センター（平）
	3月 3日	第2回川部地区地域ケア会議／川部公民館（勿来）
	3月 3日	小地域担当会議／小川支所（小川）
	3月 11日	第8回ほほえみネットワーク好間定例会／好間公民（好間）
	3月 14日	第3回下川地区地域ケア会議／下川公民館（小名浜）
	3月 14日	宮2区あんしん見守り隊活動報告会／宮沢集会所（内郷）
	3月 18日	郷ヶ丘一町目地区高齢者見守り隊結団式／郷ヶ丘1丁目館（平）
	3月 20日	第4回地域ケア推進会議／小名浜公民館（小名浜）

○ いわき市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会への参画

高齢者の尊厳を保持する観点から、高齢者の虐待問題に対応するため、関係機関・団体等の連携のもとに組織された「いわき市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会」に参画し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、虐待防止の体制づくり等に努めた。

平成26年3月28日 虐待防止ネットワーク運営委員会（総合保健福祉センター）

○ いわき市介護保険運営協議会への参画

介護保険事業計画の策定や同計画に基づく施策の展開、介護保険サービスの評価、計画の進行管理等に関する諮問機関として設置されている本協議会に参画し、介護保険が円滑に運営されるよう意見具申や提言を行った。

平成25年 5月22日 第1回運営協議会（いわき市労働福祉会館）

第1回地域密着型サービス部会

8月28日 第2回運営協議会（いわき市文化センター）

第3回地域密着型サービス部会

11月13日 第3回運営協議会（いわき市文化センター）

第4回地域密着型サービス部会

## ○ 各種審議会・協議会等への参画

### <いわき市社会福祉審議会>

平成25年 9月13日	児童福祉専門分科会（いわき市役所）
9月19日	民生委員審査専門分科会（いわき市役所）
平成26年 3月19日	第2回児童福祉専門分科会（いわき市役所）

### <いわき市行政経営市民会議>

平成25年 5月31日	第1回会議（文化センター）
8月 2日	第2回会議（いわき市役所）
11月29日	第3回会議（いわき市役所）
12月13日	第4回会議（いわき市役所）
12月20日	第5回会議（いわき市役所）
平成26年 1月17日	第6回会議（いわき市役所）

### <いわき市防災会議>

平成25年12月24日	委嘱状交付式及び第1回会議（いわき産業創造館）
-------------	-------------------------

### <いわき市情報公開・個人情報保護審議会>

平成25年 5月29日	第1回審議会（いわき市役所）
8月29日	第2回審議会（いわき市役所）
11月15日	第3回審議会（いわき市役所）
12月19日	第4回審議会（いわき市役所）
平成26年 2月 4日	第5回審議会（いわき市役所）

### <いわき市国民健康保険運営協議会>

平成25年 5月22日	委嘱状交付式／国民健康保険運営協議会（いわき市役所）
10月10日	「国民健康保険財政健全化対策強化月間」街頭キャンペーン

### <いわき市保健医療審議会>

平成25年11月28日	委嘱状交付式及び第1回審議会（総合保健福祉センター）
12月26日	第2回審議会（総合保健福祉センター）
平成26年 2月 6日	第3回審議会（総合保健福祉センター）
3月20日	委嘱状交付式及び第4回審議会（総合保健福祉センター）

### <いわき市災害公営住宅入居選考基準検討委員会>

平成25年 5月24日	委嘱状交付式・第1回会議（いわき市役所）
7月16日	第2回会議（いわき市役所）
8月 5日	第3回会議（いわき市役所）
9月 4日	第4回会議（いわき市役所）

### <いわき市新病院デザインビル事業者選定委員会>

平成26年 2月23日	委嘱状交付式・第1回選定委員会（総合磐城共立病院）
3月17日	第2回選定委員会（総合磐城共立病院）

### <いわき市成年後見制度利用支援関係者連絡会>

平成26年 2月13日	連絡会議（いわき市文化センター）
-------------	------------------

### <いわき市の復興に関する連絡・調整会議>

平成26年 3月18日	第5回会議（いわき市文化センター）
-------------	-------------------

<いわき地域生活・就労支援協議会>

平成25年11月27日 いわき地域生活・就労支援協議会（いわき地方合同庁舎）

<いわき地区精神保健福祉協会>

平成25年 4月25日	役員会（総合保健福祉センター）
5月20日	総会（総合保健福祉センター）
9月10日	自殺予防街頭キャンペーン（JR いわき駅前）
11月11日	役員会（総合保健福祉センター）
平成26年 2月28日	役員会（総合保健福祉センター）

<公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団>

平成25年 4月23日	第88回理事会（いわき市健康・福祉プラザ）
5月29日	第89回理事会（いわき市健康・福祉プラザ）
12月18日	第90回理事会（いわき市健康・福祉プラザ）
平成26年 1月22日	第91回理事会（いわき市健康・福祉プラザ）
3月24日	第92回理事会（いわき市健康・福祉プラザ）

<いわき市地域自立支援協議会>

平成25年 8月 1日	第1回協議会（総合保健福祉センター）
12月16日	第2回協議会（総合保健福祉センター）

<いわき市障がい者虐待防止ネットワーク協議会>

平成26年 2月13日	（総合保健福祉センター）
3月28日	（総合保健福祉センター）

<第3次地域福祉活動計画策定に係る会議>

平成25年10月10日	（社会福祉センター）
平成26年 1月 8日	（社会福祉センター）

<いわき市復興支援ボランティアセンター連絡会議>

平成25年 4月17日	第31回連絡会（社会福祉センター）
5月16日	第32回連絡会（社会福祉センター）
6月27日	第33回連絡会（社会福祉センター）
7月25日	第34回連絡会（社会福祉センター）
8月29日	第35回連絡会（社会福祉センター）
9月26日	第36回連絡会（社会福祉センター）
11月14日	第37回連絡会（社会福祉センター）
12月19日	第38回連絡会（社会福祉センター）
平成26年 2月 6日	第39回連絡会（社会福祉センター）
3月20日	第40回連絡会（社会福祉センター）

<いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会>（県社協・双葉八町村社協との連絡会）

平成25年	4月25日	第17回連絡会（社会福祉センター）
	5月30日	第18回連絡会（社会福祉センター）
	6月25日	第19回連絡会（社会福祉センター）
	7月25日	第20回連絡会（社会福祉センター）
	8月29日	第21回連絡会（社会福祉センター）
	9月26日	第22回連絡会（社会福祉センター）
	10月30日	第23回連絡会（社会福祉センター）
	11月22日	第24回連絡会（社会福祉センター）
	12月25日	第25回連絡会（社会福祉センター）
平成26年	1月30日	第26回連絡会（社会福祉センター）
	2月25日	第27回連絡会（社会福祉センター）
	3月20日	第28回連絡会（社会福祉センター）

<県社協関係>

平成25年	5月27日	福島県社会福祉協議会理事会（県福祉センター）
	6月7日	市町村社会福祉協議会会长会・事務局長会議（男女共生センター）
	6月19日	福島県社会福祉協議会理事会（福島ビューホテル）
	7月1日	市町村社協連絡協議会事務局長会議（県福祉センター）
	9月26日	福島県社会福祉協議会理事会（県福祉センター）
	12月16日	福島県社会福祉協議会配分委員会（県福祉センター）
	12月18日	福島県社会福祉協議会理事会（県福祉センター） 全国ボランティアフェスティバルふくしま（仮称）第1回準備委員会 (県福祉センター)
平成26年	1月30日	福島県都市社会福祉協議会連絡会（喜多方市総合福祉センター）
	2月5日	全国ボランティアフェスティバルふくしま（仮称）第2回準備委員会 (県福祉センター)
	3月5日	市町村社協連絡協議会会长・事務局長会議（ピックパレットふくしま）
	3月17日	福島県社会福祉協議会理事会（県福祉センター）

<県関係>

平成25年	6月17日	第1回日本赤十字社福島県支部評議員会（福島県赤十字会館）
	9月5日	地球にやさしいふくしま県民会議いわき地方会議 (福島県いわき合同庁舎)
平成26年	2月5日	第2回日本赤十字社福島県支部評議員会（福島県赤十字会館）
	2月13日	福島県防災会議（福島県庁）

<全社協地域福祉委員会「社協・生活支援活動強化方針」推進プロジェクト委員会>

平成26年	1月23日	第1回ワーキンググループ（東京商工会館）
	2月14日	第2回プロジェクト委員会（東海大学校友会館）

○ いわき地区障がい者福祉連絡協議会との連携

いわき市内の障がい者福祉施設や福祉団体の連絡組織であるいわき地区障がい者福祉連絡協議会と連携し、障がい者作品展やその他の活動を支援するとともに、協働により障がい者福祉の推進に努めた。

平成25年	4月25日	総会（生涯学習プラザ）
	12月6日	いわき市障がい者週間記念事業「障がい者作品展」（イオンいわき店）
	～8日	

<p>○ いわき里親会の活動支援</p> <p>里親会の会員がお互いに相談・交流することができる里親サロン活動の支援等を行った。</p>																					
<p>○ いわき市盲人福祉協会の活動支援</p> <p>視覚障がい者の当事者組織である「いわき市盲人福祉協会」の運営を支援するとともに、視覚障がい者の社会参加や生きがいづくり、障がい者福祉の向上を目的に開催する盲人福祉文化祭やその他の活動を支援した。</p> <p>平成25年11月3日 第42回いわき市盲人福祉協会文化祭（サン・アビリティーズ）</p>																					
<p>○ いわき市腎臓病患者友の会の活動支援</p> <p>人工透析をしている人たちの当事者組織である、「いわき腎臓病患者友の会」が、自らの福祉向上を目的に行う活動を支援した。</p> <p>平成25年5月26日 いわき市腎臓病患者友の会第35回定期総会</p>																					
<p>○ いわき市遺族連合会の活動支援</p> <p>「いわき市遺族連合会」が主催する戦没者慰霊祭や地区の遺族会が主催する慰霊祭等の活動を支援した。</p> <p>平成25年10月10日 市戦没者追悼式慰霊祭（いわき芸術文化交流館アリオス）</p>																					
<p>○ いわき市老人クラブ連合会の活動支援</p> <p>「いわき市老人クラブ連合会」が行う高齢者スポーツ大会や高齢者作品展と芸能祭、さらには各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進を目的に実施するさまざまな活動を支援した。</p> <table> <tbody> <tr> <td>平成25年 7月25日</td> <td>シルバーピアード2013 実行委員会</td> </tr> <tr> <td>7月29日</td> <td>シルバーフェア2013 第1回実行委員会</td> </tr> <tr> <td>10月 9日</td> <td>シルバーピアード2013 大会準備</td> </tr> <tr> <td>10月10日</td> <td>シルバーピアード2013</td> </tr> <tr> <td>10月24日</td> <td>シルバーフェア2013 第2回実行委員会</td> </tr> <tr> <td>11月 7日</td> <td>シルバーフェア2013 芸能祭</td> </tr> <tr> <td>11月26日</td> <td>シルバーフェア2013 第3回実行委員会</td> </tr> <tr> <td>12月 4日</td> <td>シルバーフェア2013 作品搬入・展示準備</td> </tr> <tr> <td>12月 5日</td> <td>シルバーフェア2013 創作展</td> </tr> <tr> <td>～10日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平成25年 7月25日	シルバーピアード2013 実行委員会	7月29日	シルバーフェア2013 第1回実行委員会	10月 9日	シルバーピアード2013 大会準備	10月10日	シルバーピアード2013	10月24日	シルバーフェア2013 第2回実行委員会	11月 7日	シルバーフェア2013 芸能祭	11月26日	シルバーフェア2013 第3回実行委員会	12月 4日	シルバーフェア2013 作品搬入・展示準備	12月 5日	シルバーフェア2013 創作展	～10日		
平成25年 7月25日	シルバーピアード2013 実行委員会																				
7月29日	シルバーフェア2013 第1回実行委員会																				
10月 9日	シルバーピアード2013 大会準備																				
10月10日	シルバーピアード2013																				
10月24日	シルバーフェア2013 第2回実行委員会																				
11月 7日	シルバーフェア2013 芸能祭																				
11月26日	シルバーフェア2013 第3回実行委員会																				
12月 4日	シルバーフェア2013 作品搬入・展示準備																				
12月 5日	シルバーフェア2013 創作展																				
～10日																					
<p>○ 福祉活動支援バス借り上げ助成事業の実施</p> <p>市内で活動する福祉団体やボランティア団体等の各種研修会や大会等への参加を支援し、もつて、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成した。</p>	再掲																				

○ 居宅介護支援事業の実施

1 居宅介護支援事業の実施（介護保険事業）

介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施した。

<利用者状況>

利用者延数 3, 300名(24年度：3, 389名)

2 施設訪問調査事業の実施

施設入所者の要介護認定更新に係る調査を実施した。

- ・ 調査件数 720件 (いわき市分： 687件 いわき市以外分： 33件)  
[24年度 704件 (いわき市分： 688件 いわき市以外分： 16件)]

関係  
資料  
P.18

○ 訪問介護事業の実施

介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供した。

<訪問介護サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)				利用者延数 (名)
	生活援助	身体生活	身体介護	計	
	10, 412	3, 015	2, 684	16, 111	1, 300
(24年度：15, 431回 1, 268名)					

関係  
資料  
P.18

○ 訪問入浴介護事業の実施

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などのサービスを提供した。

<訪問入浴サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	3, 350	40	3, 390	892
(24年度：3, 777回)			937名	

関係  
資料  
P.18

○ 介護予防訪問介護事業の実施

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者等の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供した。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)		利用者延数(名)
	4, 327	657	
(24年度：4, 918回)		755名	

関係  
資料  
P.18

○ 介護予防訪問入浴介護事業の実施

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供した。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	26	1	27	
(24年度: 0回)			0名)	

関係  
資料  
P.18

○ 障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業）の実施

介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい程度区分の認定された障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの居宅介護サービスを提供した。

<居宅介護サービス事業利用状況>

対象者 (障がい程度区分認定者)	実施回数(回)				利用者延数(名)
	生活 援助	身体 生活	身体 介護	計	
	365	0	369	734	
(24年度: 402回)				40名)	

関係  
資料  
P.18

○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業の実施

入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などのサービスを提供した。

対象者 (65歳未満の身体障がい者等)	実施回数(回)			利用者延数(名)
	入浴	清拭	計	
	669	0	669	
(24年度: 656回)			151名)	

関係  
資料  
P.18

## 基本目標4 日々の生活の場としての地域環境づくり

### 基本計画4-1 交流・連帯の場づくり

実施項目／実施内容	備考
<p>○ いわき市社会福祉センターの管理運営</p> <p>一般市民、福祉関係団体等へ会議室を提供した。</p> <p>&lt;利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用件数 651件（24年度：600件）</li> <li>・ 利用人数 17,483名（24年度：16,447名）</li> </ul>	関係資料 P12
<p>○ いこいの家の管理運営</p> <p>社会福祉センター「いこいの家」の運営</p> <p>独立行政法人国立病院機構いわき病院に併設されている重症心身障がい児病棟の入所児や保護者、ボランティアの憩いの場として提供した。</p> <p>&lt;利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊利用人数 72名（24年度：56名）</li> <li>・ 休憩等利用人数 394名（〃：202名）</li> </ul>	

### 基本計画4-2 ユニバーサルデザインの推進

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 車椅子貸出事業の実施</p> <p>自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子の無料貸し出しを行うことにより、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュのための外出等を支援した。</p> <p>&lt;貸出状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出件数 49件（24年度：86件）</li> <li>・ 貸出台数 64台（〃：209台）</li> </ul>	
<p>○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業の実施</p> <p>自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両の無料貸し出しを行うことにより、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュのための外出を支援した。</p> <p>&lt;貸出状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出件数 54件（24年度：51件）</li> <li>・ 貸出台数 2,253km（〃：1,988km）</li> </ul>	

○ 高齢者疑似体験セットの貸出	再掲
加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。	
○ 児童・生徒向け体験プログラムの実施	再掲
教育現場での総合学習と連携して、児童・生徒に思いやりややさしさを醸成するための福祉体験プログラムを実施し、次世代の育成を図った。	
○ ボランティアスクールの実施	再掲
第22回サマーショートボランティアスクールの実施 開校式を含め4日間の日程で、夏休みの期間を利用し、市内福祉施設などで高校生を対象にボランティア体験学習を実施した。	
○ 福祉教育用ビデオライブラリーの貸出	再掲
住民福祉活動やボランティア活動への市民の積極的な参加と協力を促進するため、福祉教育用ビデオライブラリーを無料で貸出した。	
○ 各種講座の開催（ボランティア・住民支え合い等）	再掲
各種のボランティアを養成するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。	
○ 小地域福祉活動の推進	再掲
行政区や自治会等の小地域において、身近な福祉課題を共通テーマに、住民組織がその解決に向けて協働しながらすすめる活動に対し、活動資金の助成や活動のノウハウ等を提供し、地域は地域で支え合う福祉コミュニティづくりの支援に努めた。	

## 組織および組織運営

### 1 組織体制

実施項目／実施内容	備考
○ 理事会・評議員会の実施	
平成25年 5月29日 第1回理事会／第1回評議員会開催	
1 評議員補充選任の同意について（理事会 議案） 2 理事補充の選任について（評議員会 議案） 3 諸規程の一部改正（案）について（理事会 議案） 4 平成25年度一般会計資金収支補正予算（案）について 5 平成24年度事業報告について 6 平成24年度一般会計収入支出決算について 7 平成24年度公益事業特別会計収入支出決算について 8 平成24年度収益事業特別会計収入支出決算について	
9月27日 第2回理事会／第2回評議員会開催	
1 副会長の選任について（理事会 議案） 2 いわき市社会福祉センターの改修について 3 温泉入浴車（タンク車）の取得について 4 財政調整積立金への積立について 5 平成25年度一般会計資金収支補正予算（案）について 6 財団法人いわき市老人クラブ連合会解散に伴う残余財産及び事務・事業の引き受けについて	
12月20日 第3回理事会／第3回評議員会開催	
1 諸規程の一部改正（案）について（理事会 議案） 2 平成25年度一般会計資金収支補正予算（案）について 3 いわき市社会福祉センター南側外壁改修等工事請負契約について 4 温泉入浴車（タンク車）の取得について	
平成26年 3月25日 第4回理事会／第4回評議員会開催	
1 規程の制定及び諸規程の一部改正（案）について（理事会 議案） 2 平成25年度一般会計資金収支補正予算（案）について 3 平成26年度事業計画・予算（案） 4 第3次地域福祉活動計画（案）について 5 評議員選任の同意について（理事会 議案） 6 理事・監事の選任について（評議員会 議案）	
○ 監査の実施	
平成25年 5月23日 市社協監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る</li> </ul>

○ 各種専門委員会の実施

【総務・財務・事業推進委員会合同会議】

平成25年 6月27日 第1回委員会合同会議

- 1 地区版地域福祉活動計画策定について
- 2 災害時要援護者マップ作成事業について
- 3 日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト被災者支援を目的とした地域福祉活動助成事業の追加申請について
- 4 職員採用の実施結果について
- 5 会員加入の推進について
- 6 財政調整積立金について
- 7 今後の委員会開催スケジュールについて

平成26年 3月13日

第2回委員会合同会議

- 1 職員採用について
- 2 事務局組織体制の見直しについて
- 3 職員給与規程に係る前職歴換算の見直しについて
- 4 嘴託職員の処遇改善について
- 5 介護職員の処遇改善について
- 6 第3次地域福祉活動計画（案）及び地区版地域福祉活動計画について
- 7 生活資金貸付事業の見直しについて

【総務・財務合同委員会】

平成25年 9月13日

- 1 社会福祉センターの改修について
- 2 温泉入浴車（タンク車）の取得について
- 3 財政調整積立金への積立について
- 4 新社会福祉法人会計基準への移行について

【総務委員会】

平成25年 6月27日

- 1 委員長・副委員長の選出について

平成26年 2月21日

- 1 安全衛生管理規程の制定について
- 2 事務局組織体制の見直しについて
- 3 職員給与規程に係る前職歴換算の見直しについて
- 4 嘴託職員の処遇改善について
- 5 介護職員の処遇改善について

【事業推進委員会】

平成26年 1月30日

第3次地域福祉活動計画（案）について

【広報委員会】

平成25年 6月13日

- 1 平成25年度いわき市社協だより発行計画について
- 2 いわき市社協だより第107号掲載内容について

3 いわき市社協だより第107号記事承認について

8月21日

- 1 いわき市社協だより第108号掲載内容について

2 いわき市社協だより第108号記事承認について

12月17日

- 1 いわき市社協だより第109号掲載内容について

2 いわき市社協だより第109号記事承認について

平成26年 3月17日

- 1 いわき市社協だより第110号掲載内容について

2 いわき市社協だより第110号記事承認について

【福祉サービス苦情解決第三者委員会】

平成26年 2月25日 連絡会議（平成25年度 苦情受付解決状況について）

○ 地区幹事会・福祉推進会の実施

地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。

○ 福祉推進委員等役員研修の実施

地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種の研修を行い、地域福祉活動及び財源確保の取り組みに対する一層の理解と協力を促進した。

1 各地区福祉推進委員関係

地区名	実施年月日	実施内容
平	平成25年 11月20日	視察研修「要援護者支援体制づくりの実際と対応・課題について」 (仙台市社会福祉協議会) *民協合同 【参加者33名】
小名浜	平成25年 9月13日	視察研修「筑波大学見学と筑波大学付属病院の施設見学と説明」 (筑波大学) 【参加者34名】
勿来	平成26年 3月 5日	視察研修「復興支援活動について」 (市内) 【参加者28名】
常磐	平成26年 3月 6日	研修会「みなと子育て応援プラザ pokke の施設見学、意見交換」 (東京都港区) 【参加者23名】
内郷	平成25年 9月13日	視察研修「筑波大学」 (茨城県つくば市) 【参加者34名】
四倉	平成26年 3月14日	研修会「四倉地区の復興計画について」 (市内) 【参加者27名】
遠野	平成26年 2月 7日	視察研修「みなと子育て応援プラザ pokke の施設見学、意見交換」 (東京都港区) 【参加者24名】
小川	平成26年 3月12日	視察研修「栃木県防災館の施設見学」 (栃木県宇都宮市) 【参加者16名】
好間	平成25年 10月22日	視察研修「竜巻災害時の社協及び災害ボランティアセンターの取組みについて」(茨城県つくば市) *民協合同 【参加者27名】
三和	平成26年 3月 4日	視察研修「社会福祉センター オアシスの施設見学」 (埼玉県川越市) 【参加者23名】
田人	平成25年 11月12日	視察研修「あしながレインボーハウス施設概要・施設見学」 (東京都日野市) *民協合同 【参加者21名】
川前	平成26年 2月25日	視察研修「救護施設の見学と施設概要の説明」 (茨城県那珂市) 【参加者14名】
久之浜 ・大久	平成26年 2月25日	視察研修「牛久市の概要と災害への取り組みについて」 (茨城県牛久市) 【参加者20名】

2 市社協役員関係

平成26年3月5日

市町村社会福祉協議会トップセミナー【参加者10名】

及び明日へ向かう社会福祉のつどい

(郡山市ピックパレットふくしま)

### ○ 共同募金運動の推進

社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。

<推進期間> 10月～12月まで

<募金納入額>

	納入額(円)
1 戸別募金	41,928,184
2 街頭募金	673,490
3 法人募金	6,937,850
4 学校募金	2,638,974
5 職域募金	1,802,870
6 イベント募金	214,274
7 その他の募金	752,475
計	54,948,117

(24年度: 54,995,655円)

- 各種地域イベントへの参加

地域振興を目的に各地区で開催される地域イベントに参加し、共同募金コーナーや高齢者疑似体験コーナーを設けるなど、社会福祉協議会のPRに努めるとともに、イベントに関わるさまざまな地域団体との交流や連携を図りながら、地域福祉の推進と福祉のまちづくりをすすめた。

平成25年 9月29日	いわき凧揚げ大会（四倉海岸）
9月29日	遠野オートキャンプ場祭り（遠野）
10月12日	復興祭（久之浜・大久）
10月27日	二ツ箭山秋祭り（小川） 鬼ヶ城収穫祭（川前）
11月 3日	田人おふくろの宿まつり（田人おふくろの宿）
11月 3日	湯の街学園祭（常磐商店街）
11月10日	農協まつり（小川支店）
11月17日	農協まつり（カントリーエレベーター：四倉）
11月23日	農協まつり（第1農業経済センター：平）
12月 8日	農協まつり（第5農業経済センター：勿来）

### ○ 歳末たすけあい運動の推進

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

<募金納入額>

26,265,964円 (24年度: 26,121,093円)

<配分状況>

	配分数	配分額(円)
1 在宅見舞金配分	902世帯	13,907,230
2 地域福祉事業配分		7,249,225
計		21,156,455

(24年度: 21,454,082円)

<p>○ ボランティア基金の運営</p> <p>福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・支援することを目的として、ボランティア基金運用収益の配分を行った。</p>	再掲
<p>○ 補助・委託事業の実施</p> <p>地域福祉の推進のため、いわき市等からの委託事業について、積極的に受託に努めた。</p> <p>＜平成25年度の受託事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時等要援護者マップ作成事業（市）【新】</li> <li>・ いきいきデイクラブ事業（市）</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業（市）</li> <li>・ いわき市復興支援ボランティアセンター運営事業（市）</li> <li>・ 津波被災地域高齢者の交流と健康づくり事業（市）</li> <li>・ 見守り支援事業（市）</li> <li>・ 地域福祉推進支援事業（市）</li> <li>・ 身体障がい者訪問入浴事業（市・楢葉町）</li> <li>・ 要介護認定調査（市・関係市区町村）</li> <li>・ 介護予防支援業務（関係市町村）</li> <li>・ 日常生活自立支援事業（県社協）</li> <li>・ 福祉人材センター指定協力事業（県社協）</li> <li>・ 生活支援相談員配置事業（県社協）</li> <li>・ 指定介護予防支援事業（NPO）</li> </ul>	
<p>○ 介護保険事業の実施</p> <p>居宅介護支援事業、訪問介護サービス事業、訪問入浴介護サービス事業、介護予防訪問介護事業及び介護予防訪問入浴介護事業を実施し、要介護認定を受けた高齢者等とその家族の介護と福祉を支援するとともに、財政基盤の強化に貢献できるよう、収益の確保に努めた。</p>	
<p>○ 障がい福祉サービス事業の実施</p> <p>居宅介護サービス事業を実施し、障がい福祉サービス受給者証交付を受けた障がい者等とその家族の介護と福祉を支援するとともに、財政基盤の強化に貢献できるよう、収益の確保に努めた。</p>	
<p>○ 社会福祉センターの設置経営</p> <p>会議室、3階・4階の貸室等により、事業収入財源の確保に努めた。</p>	

### 3 職員体制および職員研修

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 計画的な職員の採用</p> <p>健全な財政に基づく組織運営と事務事業を遂行するため、適正な職員定数のもとに、計画的な職員の採用に努めた。</p> <p>平成26年4月1日 3名（平成26年度職員採用決定）</p>	
<p>○ 職員の資格取得の奨励</p> <p>地域福祉を推進し、かつ住民福祉活動を支援していくうえで、職員にはより高い専門性が求められる時代になったことから、社会福祉士や社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員など、職員の資格取得と専門性の向上に努めた。</p>	
<p>○ 職場内研修の実施</p> <p>事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。</p> <p>平成25年 6月12日 職員会議      6月21日 地区協議会常任幹事・事務局長会議      6月27日 第1回地域福祉支援員ミーティング      7月30日 第2回地域福祉支援員ミーティング      8月27日 第1回定期連絡会      8月27日 職員会議      9月25日 第1回合同連絡会      10月24日 第3回地域福祉支援員ミーティング      11月22日 ホームヘルプセンター（居宅・介護・入浴・非常勤）合同研修会      11月27日 第2回定期連絡会      12月25日 第2回合同連絡会      12月25日 生活支援相談員業務の振り返りワークショップ      平成26年 1月22日 第4回地域福祉支援員ミーティング      1月29日 復興支援活動者等研修会      2月 6日 職員会議・職員研修      2月17日 住民支え合い活動実践研修会      3月26日 平成24・25年度新規採用職員等「企画力・プレゼンテーション研修」      3月26日 第3回合同連絡会      3月27日 ホームヘルプセンター（居宅・介護・入浴）</p> <p>(毎週開催) 居宅支援事業所定例会      (毎月開催) 訪問入浴事業所定例会      (毎月開催) 訪問介護事業所定例会      (毎月開催) ホームヘルプセンター正・副主任会議      (毎月開催) 生活支援相談員全体会議      (隔週開催) 生活支援相談員地区リーダー会議</p>	

## ○ 職場外研修の実施

全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣し、他団体からの参加者との交流や情報交換等を通じて専門性の向上と資質の向上に努めた。

### <総務関係>

平成25年	6月 1日	社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座（～8/17）
	6月 6日	安全運転管理者等講習
	6月 7日	市町村社会福祉協議会会長・事務局長等会議
	7月 5日	市町村社会福祉協議会職員研修（基礎編）
	7月 25日	いわき市保健福祉部新任ケースワーカー研修
	8月 9日	第1回人事労務研修会（労務管理編）
	10月 25日	市町村社会福祉協議会経営・財務研修会 (新会計基準移行に向けた研修会)
	11月 16日	社会福祉士実習指導者講習会（～11/17）
	11月 22日	社会福祉協議会における新会計基準への移行研修会
	12月 3日	生活福祉資金担当職員研修会
	12月 20日	市区町村社会福祉協議会管理職員研修会（～2/17）

### <地域福祉活動事業関係>

平成25年	5月 14日	福祉人材センターネットワーク構築情報会議
	6月 18日	ホームスタートこみゅーん第1回運営委員会
	7月 2日	社会福祉協議会活動全国会議（～7/3）
	8月 28日	福島県地域子育て支援従事者のための基礎研修会
	9月 26日	市町村社協職員研修会
	10月 3日	平成25年公開セミナー
	11月 28日	全国校区・小地域福祉活動サミット in みえ
	11月 29日	地域の福祉力セミナー
平成26年	1月 28日	高齢者見守り隊意見交換会
	1月 18日	地域密着型福祉全国セミナーin 豊田（～1/19）
	3月 7日	平成25年度生活困窮者自立促進支援モデル事業推進会議
	3月 26日	福島県生活困窮者自立促進支援モデル事業結果報告会

### <日常生活自立支援事業関係>

平成25年	5月 14日	あんしんサポート新任研修会
	5月 14日	契約締結審査会
	7月 9日	契約締結審査会
	7月 31日	平成25年度生活支援員研修会
	9月 10日	契約締結審査会
	9月 26日	あんしんサポート担当職員研修会
	11月 18日	家事関係機関連絡会議
	12月 4日	社会福祉協議会における成年後見制度の取組状況視察研修
平成26年	1月 14日	契約締結審査会
	3月 7日	あんしんサポート方部別市町村社協連絡会議
	3月 11日	契約締結審査会

### <ボランティア事業関係>

平成25年	8月 8日	災害ボランティア運営講座
	11月 23日	第22回全国ボランティアフェスティバル高知（～11/24）
平成26年	2月 13日	ボランティアコーディネーション力研修会

**<復興支援事業関係>**

平成25年	5月16日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員研修会基礎編（～5/17）
	7月16日	被災者支援に携わる支援者のための精神保健スキルアップ研修会
	8月 2日	支援者のためのストレスケア研修会
	8月20日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員第1回テーマ別研修会
	10月 1日	市町村社会福祉協議会チーフ生活支援相談員等研修会
	10月 7日	災害公営住宅入居募集に係る支所担当者等説明会
	11月 1日	生活不活発病研修会
	11月11日	第1回紛争解決学入門研修会
	11月25日	第13回心うつくしまフォーラム
	12月 9日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員第2回テーマ別研修会
	12月26日	復興支援者のためのストレスケア研修会
平成26年	1月 9日	生活支援活動管理職・担当者連絡会議（～1/10）
	1月22日	依存症の理解と支援の研修会
	2月 5日	サイコロジカル・リカバリースキル研修会（～2/7）
	2月12日	菊池桃子講演会～未来を豊かにするキャリア・デザイン～
	3月 7日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員等現況報告会

**<共同募金事業関係>**

平成25年	5月 8日	福島県共同募金会各市町村・郡共同募金委員会（市・分会）新任事務担当者研修会及び平成25年度助成事業に関する説明会
	6月27日	市部のファンドレイジング連絡会
	8月29日	じぶんの町を良くする会議 第4回赤い羽根全国ミーティング in 東京（～8/30）

<ホームヘルプセンター事業関係>

平成25年	4月 23日	新任認定調査員研修会
	5月 8日	介護予防プラン作成研修会
	5月 19日	平地区介護支援専門員交流会・虐待事例検討
	5月 28日	介護保険サービス事業所集団指導(～5/29)
	7月 2日	介護支援専門員実務従事者基礎研修①(～7/3)
	7月 9日	認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修
	7月 10日	平地区介護支援専門員交流会・認知症高齢者の対応について
	8月 7日	介護支援専門員実務従事者基礎研修②(～8/8)
	8月 19日	介護支援専門員門員更新研修・専門研修Ⅱ(～8/21)
	9月 11日	平介護支援専門員交流会・ターミナル支援事例
	9月 13日	障害福祉サービス事業者等集団指導講習会
	9月 20日	福祉サービスに関する苦情解決研修会・苦情受付担当
	10月 5日	福祉サービス事業スキルアップ研修
	11月 13日	訪問介護適正実施研修Ⅰ
	11月 13日	平地区介護支援専門員交流会・障害者福祉制度の流れ
	11月 17日	成年後見制度実務研修
	11月 19日	平ヘルパー事業所交流会・意見交換会
	11月 20日	楷葉町ケアマネ連絡協議会・楷葉町の介護状況について
	11月 21日	福祉サービスセミナー・チームで対応するために必要なコミュニケーション力
	11月 22日	福祉サービスに関する苦情解決研修会・苦情解決責任者
	11月 26日	地域関係職員認知症対応力向上研修会
	11月 30日	福島県在宅じょく瘡セミナー／じょく瘡処置・予防講座
平成26年	1月 9日	いわき市ホームヘルパー研修会・認知症サポーター養成講座／高齢者虐待について
	1月 28日	現任認定調査員研修会
	1月 30日	高齢者虐待対応研修会・虐待防止法について
	2月 18日	平ヘルパー事業所交流会・サービス提供時間の平準化
	2月 28日	いわき市介護支援専門員連絡協議会・自立支援につながるケアプラン
	3月 11日	介護実習指導者協議会